

STUDY ABROAD 2025



STUDY ABROAD 準備から帰国まで



遠い世界の、新しい出会いが、 あなたの未来を変える。

同志社大学グローバル・コミュニケーション学部英語コースでは、
国境や文化圏を越えたコミュニケーションを体得するために
STUDY ABROAD (海外留学) を必修としています。

1年次では、STUDY ABROADの準備をしながらコミュニケーション理論、
世界での英語使用について学び、コミュニケーション能力を伸ばします。
そして2年次は、いよいよSTUDY ABROADへの旅立ち！
未知の世界があなたを待っています！



CONTENTS

STUDY ABROAD 準備から帰国まで	3
出発までの流れ	4
SAに必要な検定試験	6
大学紹介	7
アメリカ	
・ The University of Utah	8
・ University of Montana	10
・ University of California, Riverside	12
・ University of California, Davis	14
・ Arizona State University	16
カナダ	
・ Acadia University	18
・ Vancouver Island University	20
・ University of Guelph	22
・ Brock University	24
イギリス	
・ University of Southampton	26
・ University of Sussex	28
オーストラリア	
・ The University of Newcastle	30
・ Deakin University	32
ニュージーランド	
・ Victoria University of Wellington	34
SAを迎える前に	36
・ パスポートについて	40
・ SAに関する内規	40
・ 誓約書／一時帰国届	41

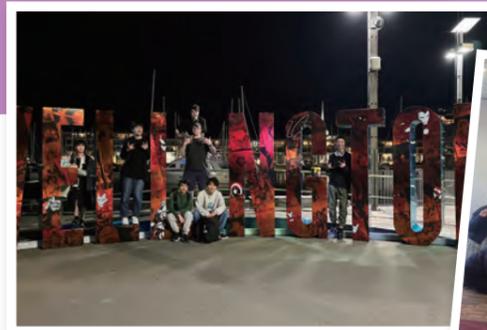


年間スケジュール		語学試験 (受験必須)
4月	オリエンテーション	TOEFL ITP®テスト 4/12(土)
5月	SA派遣先の国のリサーチ	第1回 SA先希望調査
6月	SA全体説明会	
7月	個別相談	TOEFL ITP®テスト 7/5(土)
8月		第2回 SA先希望調査
9月	成績確定後、選考	SA先決定
10月	留学申請書類作成 渡航に係る各種手続き	
11月		
12月	保護者相談会	
1月		
2月		SA出発
3月		
12月~ 翌年4月上旬	帰国報告、単位認定	TOEIC® Listening & Reading Test TOEFL ITP®テスト 3月下旬~4月上旬 に実施予定

※出発及び帰国の時期はSA先により異なるため、各大学紹介ページを参照してください。

出発までの流れ

皆さんが同志社大学グローバル・コミュニケーション学部に入学したその時点から、STUDY ABROAD(SA)に向けた準備は始まります。1年次はSA先を決定し、SAに備える大切な準備期間です。出発までの流れは次のとおりです。



2025
春学期

2025年4月～9月まで

SA先決定までのプロセス

Threshold Seminar 1

英語コースではSAへの準備クラスとしてThreshold Seminar1と2が設置されています。Threshold Seminar1では、SAを含めた4年間の学習計画を立てたり、それぞれの国の大学の概要を学んだり、異文化理解とは何かについて考えたりしながら、志望大学を決定していきます。

英語スキル系科目群

Communicative Performance 1
Progress in Reading 1
Progress in Writing 1

英語の「読む・書く・聞く・話す」という4技能を向上させて、SAに必要な英語力を身につけます。

Preparation for TOEFL

SA先の各大学ではESL、アカデミック・コースともに、TOEFL®テスト、IELTSなどの検定試験による受け入れ基準を設けています。このクラスでは、特にTOEFL®テストで高得点を取得することを目指します。

専門講義系科目群

Introduction to English-Speaking Culturesでは、英語圏の文化と英語の多様性を英語による講義を通して学びます。次年度のSAに向け、世界の英語と文化に関する知識を得るとともに、ノート・テイキングなどのアカデミック・スキルを身につけるねらいもあります。

Threshold Seminar 1 で取り扱う内容(予定)

- オリエンテーション：4年間の学びについて、SAに向けた準備の流れについて
- e-learning教材、自学自習室、ラーニング・commonsの活用法
- SAの概要の説明、4年間のカリキュラムについて
- 図書館の活用法
- SA派遣先の国のリサーチ発表
- SAの学習設計 ①：SAの目標、Application Form、Statement of Purposeの書き方
②：各大学のCourse Catalogueを調べる
③：SAの目標と学習計画
- SA後の学び：4年間の学習設計と卒業後の進路について
- Academic Skills ①：Plagiarismを避けてエッセイを作成する、AIとの付き合い方について
②：異文化コミュニケーション
③：ノートテイキング
- SA先大学志望校決定のための個別相談

◎SA先は、主として第2回TOEFL ITP®テストのスコアと1年次春学期の成績評価(GPA)、及び第2回SA先希望調査から総合的に判断し、9月に最終決定されます。行きたい国の大学についてわからないことがあれば、オフィス・アワーなどを利用して担当の先生と相談してください。

STUDY ABROAD 先決定

2025
秋学期

2025年9月～2026年3月まで

SA先決定後の準備

Threshold Seminar 2

SAについての具体的な準備を進めながら、SA先の国の文化や社会に関するリサーチ活動を行い、その結果について英語でプレゼンテーションをします。SA先での大学生活や日常生活を円滑に営むために必要な知識を身に付け、異文化理解へと結び付けていくのが目的です。

英語スキル系科目群

Communicative Performance 2
Progress in Reading 2
Progress in Writing 2

英語の4技能の更なる向上を図るとともに、SAに必要なアカデミック・スキルを身につけます。

Preparation for Academic Study

SA先大学で履修するアカデミック科目の準備として、社会、言語、文化それぞれの領域におけるグローバル・コミュニケーション学の基礎を学びながら、文献リサーチ、批判的思考、論理的議論の展開法、論文の書き方などを習得します。

専門講義系科目群

Introduction to Japanese Cultureでは、日本研究に携わってきた教員による英語での講義を通して、日本の社会や伝統・現代文化についての知識を身につけ、理解を深めます。SA先の国々で、日本について英語を使って発信できる能力を養うことを目指します。

Threshold Seminar 2 で取り扱う内容(予定)

- オリエンテーション：Threshold Seminar 2 について
- SA準備開始：今後のSA手続スケジュール等について
- 国別・出願書類、査証申請書類についての説明と作成
- SA先の国の社会と文化
- 日本文化の紹介
- Intercultural Communication (講義)
- SA先での日常生活
- 渡航前全体オリエンテーション
- 危機管理ガイダンス ①：健康管理
②：メンタル・ヘルス
③：海外で危険に遭遇したときの対処法、保険の活用法など
- 渡航前国別オリエンテーション

◎SA先が決定した後は、主としてThreshold Seminar 2のクラスでの学習活動を通して、SAの準備をします。SA先の国の文化や異文化理解について学ぶとともに、現地での危機管理やメンタルヘルスなど、SA期間中の生活に必要な知識を習得します。

STUDY ABROAD 出発

SAに必要な検定試験

SA先の各大学では受け入れに際して、検定試験の基準点を設けています。
検定試験には次のようなものがあります。



TOEFL ITP®テスト Test of English as a Foreign Language, Institutional Testing Program

TOEFL ITP®テスト(ITPテスト)はTOEFL®テスト作成元であるEducational Testing Service(ETS)が提供する団体向けテストプログラムです。同志社大学では年8回、実施されています。ITPテストのスコアには公的な効力はありませんが、多くの大学ではESL(English as a Second Language)に入学する場合に限り、これを受け入れの基準として認めています。本学部では、SA先を決定するにあたって、**7月に行われるITPテストのスコアをSA先決定の判断材料としており、全員の受験を必須としています(学部が一括して申し込み)。**

■同志社大学実施のTOEFL ITP®テストの詳細はこちら
https://international.doshisha.ac.jp/oia/toefl_ielts_toeic/toefl_itp.html



TOEFL iBT®テスト Test of English as a Foreign Language, Internet-Based Test

TOEFL iBT®テスト(iBTテスト)はインターネットによる試験で、この試験で獲得したスコアは英語能力を証明するものとして、英語圏の多くの大学や大学院で認められています。「読む」「聞く」「話す」「書く」の4セクションで構成され、テストセンターで1人1台コンピュータが割り当てられ、全セクションをコンピュータ上で受験します。テストの所要時間は約2時間です。

SA先において、アカデミック・コースから入学する場合には、受け入れの条件としてこのiBTテストでの基準点以上のスコアを要求されるケースがあり、SA先にApplicationを送る時期までに、この試験を受験する必要があります。また、ESLから始める予定の人も、なるべく早くアカデミックへ移行するのに役立つ場合があります。**英語コースではSA前に1回は受験しておくことを推奨しています。**

■テスト全般に関する(オンライン申込を含む)詳細はこちら
Educational Testing Service(ETS)
<https://www.ets.org/toefl>



■郵送・電話での申込等はこちら
プロメトリック株式会社
<https://ac.prometric-jp.com/examinee/test-list/archives/60>



TOEIC及びTOEFLはエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。この印刷物はETSの検討を受けまたはその承認を得たものではありません。

IELTS International English Language Testing System

英語圏への留学を目指すにあたって、TOEFL®テストと同じくらい重要なのがIELTSです。IELTSは海外留学や研修のために英語力を証明する際に使うことができるテストです。IELTSには2つのテスト形式がありますが、大学や大学院への留学を目指す場合は「アカデミック・モジュール」を受験するのが一般的です。

試験の結果はBandで表示され、総合力その他、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの分野別にBand1~9の得点域で表示されます。英語圏の高等教育機関への入学許可を受けるには、通常5.5~7.0のグレードが必要となります。

イギリスへのSAを希望する場合は、英国ビザ申請のために必要なIELTS for UK Visas and Immigration(Academic)を必ず受験してください。オーストラリアへのSAを希望する場合は、通常のIELTS(Academic)を必ず受験してください。また、5月に説明会を実施しますので、参加してください。

■テスト全般に関する詳細はこちら
<https://www.eiken.or.jp/ielts/>



■IELTS for UK Visas and Immigrationの詳細はこちら
<https://www.eiken.or.jp/ielts/ukvi/>



大学紹介

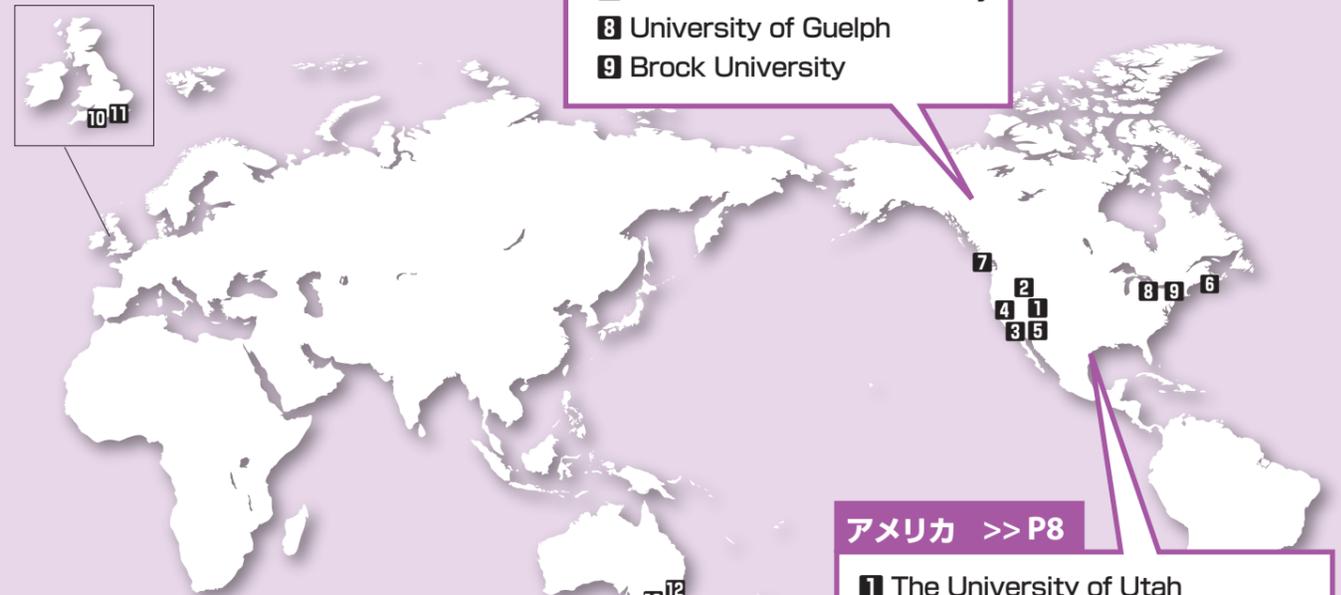
イギリス >> P26

- 10 University of Southampton
- 11 University of Sussex



カナダ >> P18

- 6 Acadia University
- 7 Vancouver Island University
- 8 University of Guelph
- 9 Brock University



オーストラリア >> P30

- 12 The University of Newcastle
- 13 Deakin University



ニュージーランド >> P34

- 14 Victoria University of Wellington

アメリカ >> P8

- 1 The University of Utah
- 2 University of Montana
- 3 University of California, Riverside
- 4 University of California, Davis
- 5 Arizona State University



The University of Utah



基本情報

University of Utahは1850年に設立されました。所在地はUtah州の州都Salt Lake Cityです。北東にはロッキー山脈、南西にはアリゾナに続く砂漠の大地が広がります。西の方角にGreat Salt Lake（大ソルトレーク湖）が見渡せる小高い丘の上に建っています。学生総数は約30,000人の総合大学で、約2,000人の留学生が世界中から集まっています。学士課程には70以上の専攻があり、ビジネス、コンピュータサイエンス、政治学、生物学で高い評価を得ています。Salt Lake Cityはモルモン教徒が開拓したことで有名ですが、University of Utahは宗教的には中立の州立大学です。

URL <https://www.utah.edu/>
(course catalog: <https://catalog.utah.edu/>)



所在地	Salt Lake City, Utah 84112, USA
創立年	1850年
運営	公立
参考学費	ELI+Academic+Academic(2,920+4,200+9,400) : \$19,800
滞在方法	ホームステイ



レベル別の履修形態

- ケース1 (Versant Test 58以上)
3月上旬～5月中旬: ELI Courses
5月中旬～7月中旬: ELI Courses
8月下旬～12月中旬: Academic
- ケース2 (Versant Test 66以上)
3月上旬～5月中旬: ELI Courses
5月中旬～8月上旬: Academic
8月下旬～12月中旬: Academic

空港からのアクセス

最寄りの空港はSalt Lake City空港です。日本からはLos Angeles経由、もしくはSan Francisco経由で約10時間程度、それぞれの乗り換え空港からSalt Lake City空港までは約1時間半かかります。空港から大学まではシャトルバスまたはTRAX（路面電車）で約30～40分程度かかります。



現地スタッフからのメッセージ

The English Language Institute and the University of Utah are happy to welcome you to our program. Living in a different culture is a life changing experience. We know that you will find Salt Lake City to be a beautiful, friendly and safe place to live and study. As Mark Twain said, 'Twenty years from now you will be more disappointed by the things you didn't do than by the ones you did do. So catch the trade winds in your sails and ... sail away from the safe harbor. Explore. Dream. Discover.' Looking forward to helping you explore, dream and discover in Utah.

George Plautz



素敵な街、あたたかい人々、素晴らしい教育環境

室田 実樹さん



きっとあなたもユタが大好きになる!

ユタ州は、ロッキー山脈の西側に位置する、日本の本州ほどの面積を有する広大な州です。特に冬は上級の雪質を誇る、全米屈指のスキーリゾートとして知られており、2002年に冬季オリンピックが開催されました。そんなユタ州という留学先は私の第四希望地でした。ところが留学直後から私を虜にさせたユタの魅力をお話しします。ユタという州に対して「田舎」、「山」というイメージを持っている人も多いかも知れませんが、きらびやかな都心には大型モールや素敵なレストランが多く、「都会」という名がふさわしい一面もあります。もちろん自然も近く、私自身ハイキングを楽しみました。私がユタ州を好きになった理由の一つは、都会と、自然をどちらも楽しめる場所ということです。また、ユタの人々の温かさ、親しみやすさも大好きな理由の一つです。誰に対しても挨拶、笑顔、ちょっとした会話をする慣習に、自分は受け入れられている、歓迎されていると感じ、「アメリカ人ではない自分」と自分自身でどこか差別化していた気持ちがなくなり、自信が持てるようになりました。さらに、5月頃にユタ大学で授業を受け始めたとき、私は本当にユタが大好きになりました。教授と学生の距離が近く、誰もが発言できる環境がそこ

にあり、政治、環境、法律など豊富な知識を含んだ意見に対して、クラス全体が敬意を持って発言に耳を傾ける姿勢を目の当たりにし、ここに来てここで勉強できてよかったと思いましたが、とても魅力的に感じました。しかし、内気な私は授業で何か言いたいことがあっても、「良い」ことが言えないかも、質問されている内容と私の発言が合っていないかもなどの不安要素でなかなか挙手できませんでした。しかし、一度意見を言ってみると、思っていたより私の意見を受け入れられていることに気づきました。それ以来、私は自分の意見をより積極的に表現するようになりました。留学に関して不安なことも多いと思いますが、思っている以上にあたたかく受け入れてくれます。私を大きく成長させてくれたユタで、ぜひ留学してみたいと思います。



キャンパス

Salt Lake Cityの街の北に位置するキャンパスでは、図書館、チューデントユニオン、メディカルセンター、ジムなど、勉学と毎日の生活に必要な設備が完備しています。広大なキャンパスにはフリーバスが走っています。また、キャンパスと町の中心部を結ぶ路面電車も走っています。8月以降からはキャンパス内の寮に住むオプションもありますが、到着の3月から8月まではホームステイしかできません。その場合、ホームステイの場所にもよりますが、こうした路面電車を始めとする交通手段は非常に便利です。



Salt Lake Cityについて

約100万人規模（郊外を入れると200万人）の大都市です。2002年に冬季オリンピックの開催地であったこともあり、国際的なイベントが今でも実施されています。町の中心から1時間ほどで世界的に有名なスキー場も行くことができます。モルモン教徒が開拓した歴史は興味深く、町全体がこうした歴史と文化、そして、国際色の両側面を兼ね備えています。ちなみに日本からは、明治4年に岩倉具視使節団が公式訪問をしています。



University of Montana



基本情報

University of Montana は1893年に設立されました。ロッキー山脈の麓の町 Missoulaの中心的存在であり、81ヘクタール（東京ドーム17個分の広さ）の敷地に広がるキャンパスは広々として美しく、とても印象的です。学部、修士課程、博士課程を含む合計170以上のプログラムを提供する州立総合大学で、約10,000人の学生が勉強しています。留学生は約400人で約70の国々から集まります。土地柄、環境学、森林学、自然資源学などの分野で全米に知られていると同時に、コミュニケーション、ジャーナリズム、英語学でも高く評価されています。特にジャーナリズムの分野からは、多数のピューリツァー賞受賞者を輩出しています。



URL <https://umontana.edu/>



所在地	32 Campus Drive, Missoula, MT 59812, USA
創立年	1893年
運営	公立
参考学費	ELI+ELI+Academic(4,083+25,500) : \$29,583
滞在方法	寮

レベル別の履修形態

- ケース1 (TOEFL ITP®テスト 450-469)**
3月上旬～5月中旬: ELI Courses
5月中旬～7月下旬: ELI Courses
8月下旬～12月中旬: ELI Courses and/or Pathway Program
- ケース2 (TOEFL ITP®テスト 470-524)**
3月上旬～5月中旬: ELI Courses
5月中旬～8月下旬 (ELIは7月中旬まで): ELI Courses and/or Pathway Program
8月下旬～12月中旬: Pathway Program and/or Academic
- ケース3 (TOEFL ITP®テスト 525+)**
3月上旬～5月中旬: ELI Courses
5月中旬～12月中旬: Academic

*Pathway Program履修条件: TOEFL iBT®テスト 52 (TOEFL ITP® テスト470) 以上
*Academic履修条件: TOEFL iBT®テスト 70 (TOEFL PBT®テスト525) 以上
またはELI (Level 6) での成績優秀者に対するELI推薦
*渡航後、5月のTOEFL ITP®テストの受験はプログラムに含まれる予定

現地スタッフからのメッセージ

Greetings from the University of Montana! The Global Engagement Office and English Language Institute look forward to welcoming you to campus. Our team supports all incoming international study abroad students and loves helping them make the most of their time in Missoula by connecting them with the community and services UM provides. We look forward to meeting all of you!

Donna Anderson, Executive Director, Global Engagement Office at the University of Montana



空港からのアクセス

最寄りの空港はMissoula空港です。日本からはSeattle経由、もしくは、San Francisco経由で約10時間程度、それぞれの乗り換え空港からMissoula空港までは約1時間半かかります。空港から大学まではタクシーで約15分（料金は約\$25）かかります。電車やバスはありません。



キャンパス

学生は全員寮に入るのが原則で、図書館、スチューデントユニオン、メディカルセンター、ジムなど、勉学と毎日の生活に必要な設備が完備されています。到着後に勉強するELI (English Language Institute) とInternational Officeは隣接しているので、勉学上、または、生活上の質問があれば気軽に現地スタッフに聞ける環境にあります。また、アカデミックに移った後の留学生を対象にした現地スタッフもアクセスのよいオフィスに常駐しています。広大なキャンパス内の移動にはフリーバスがありますが、自転車のレンタルも無料でできます。大学の周りの環境もよく、ダウンタウンにも歩いて行くことができます。



University of Montanaでの留学生活

内園 一輝さん



どこの国へ留学するにしても、その国の文化を知っておこう。

私は、英語を本格的に勉強したのは受験生になってからということもあり、スピーキングとリスニングに関しては周りの友人よりも若干劣っていたかもしれませんが、そのため現地に到着した時、本場の英語のスピードやテンポには圧倒されました。次第に慣れていったので過度な心配は不要ですが、皆さんはスピーキングの練習をしっかりとしておくことをお勧めします。英語をある程度話せないと十分なコミュニケーションは取れないので、充実した留学生活を送るため、今のうちから練習しておきましょう!

University of Montanaでの留学生活は、基本的に大学敷地内にある寮で生活します。そのため、大学でできた友達と多くの時間を過ごすことが出来ます。私の場合、ルームメイトが現地の学生だったので、英会話の上達にとっても役立ちました。授業に関しては、ESL (語学学校) の授業は基本的な英語力を伸ばすのにつけてですが、現地学生と関わることができないというデメリットがあります。一方、アカデミックの授業は、かなりハイレベルで、予習を怠ると、教授の話している内容が理解できず、ディスカッション時には置物状態になってしまいます!しっかりと予習・復習をしましょう。楽しい授業もたくさんあります。私の

履修した授業の1つでは、ロックンロールの歴史を扱っており、様々なアメリカのロックバンドや歌手について知ることができました。音楽が好きな人はぜひ履修することをお勧めします。

モンタナに留学する上で最大のメリットは、治安の良さと自然の豊かさです。治安は日本と同じくらい良いと感じました (財布を落とした際、親切な人が届けてくれて無事返ってきたという人もいます)。モンタナに住んでいる人は明るく、気さくな人が多い印象です。キャンパスの中ではリスをよく見かけますが、シカやクマが出ることもあります。また、モンタナの自然公園は日本とは比べ物にならないくらい大きく、景色も圧巻です。アメリカ全体の傾向として物価は高いですが、他の州と違い、モンタナには消費税が無いのも魅力の一つです。少しでも皆さんの参考になればうれしいです!



Missoulaについて

ロッキー山脈の麓の町Missoulaはモンタナ州で第2番目に大きい町と言いつつも、非常にのびのびとした印象の環境です。歴史的には林業が中心の町でしたが、現在の町の中心は大学と観光となっています。人口は67,000人程度で、大学の回りには美しい河が流れ、カヤックなどのスポーツやフィッシングが盛んです。大学から歩いて行けるダウンタウンにはファッションブルなイメージはありませんが、雰囲気がよく、充実したブックストアや落ち着いたカフェがあります。



University of California, Riverside



URL <https://www.ucr.edu/>
(course catalog : <https://extension.ucr.edu/>)



所在地	900 University Ave. Riverside, CA 92521
創立年	1959年
運営	公立
参考学費	ESL+Academic (21,500) : \$21,500
滞在方法	寮

基本情報

UC Riversideは1907年にUniversity of Californiaの柑橘類研究所として設置され、1959年に独立して1キャンパスとなりました。Bourns College of Engineering、College of Humanities, Arts and Social Sciences、College of Natural and Agricultural Sciencesという3つのカレッジと、School of Business AdministrationとGraduate School of Educationという2つの専門職大学院を持っています。その他、近年、School of Medicineが発足しました。現在の学生数は学部が約22,000人、大学院生が約3,700人で、そのうちの約2,000人が留学生です。アメリカの総合大学としては比較的新しい部類の大学ですが、カリフォルニア大学の他校同様、教育、研究ともに高い評価を受けています。またアメリカで3番目に人種的・民族的多様性が高い大学です。

レベル別の履修形態

- ケース1 (TOEFL ITP®テスト 500-529 or TOEFL iBT®テスト 61-70)
3月下旬～6月初旬: ESL Courses
7月初旬～8月下旬: ESL Courses
10月初旬～12月中旬: Academic Courses
- ケース2 (TOEFL ITP®テスト 530-549 or TOEFL iBT®テスト 71-78)
3月下旬～6月初旬: ESL Courses
6月下旬～9月中旬: Academic Courses
9月下旬～12月中旬: Academic Courses
- ケース3 (TOEFL ITP®テスト 550+ or TOEFL iBT®テスト 79+)
3月下旬～6月中旬: Academic and/or Extension Courses
6月下旬～9月中旬: Academic Courses
9月下旬～12月中旬: Academic Courses

*TOEFLのスコアは参考で、正式には到着時のプレメントテストの結果で履修形態を決定する。

現地スタッフからのメッセージ

Thank you for considering UCR Extension as a partner in your study abroad journey. UCR is one of the most diverse campuses within the University of California system, and ranks among the top 25 research universities in the United States. UCR partners with universities throughout the world to maintain the highest standards of teaching and to bring a global dimension to our campus and each of our programs. Each year, thousands of international students from around the world come together in Riverside to find their futures at UCR. Since 1975, our programs have delivered top quality instruction and training across many disciplines, and provided international students with meaningful experiences, as part of our global community.

Today, becoming a global society is more important than ever – not just for economic reasons, but for social, cultural, political, and environmental reasons as well. Exchange of values, thoughts and ideas provide you with the tools to face, and possibly solve, the many challenges in today's world. UCR has focused on the benefits of building a global community, and we would like to share those benefits with you here in Southern California. Together, we will work hard to help you achieve your educational and career goals. I look forward to personally welcoming you to the UCR family.

Kevin J. Vaughn, Ph. D.



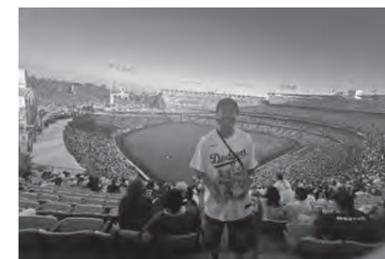
空港からのアクセス

最寄りの空港はOntario空港ですが、日本との直通便がないため、Los Angeles国際空港を経由し、そこからハイウェイで移動するのが一般的です。所要時間は約1時間半です。UC Riversideの中心地区にAmtrakの駅があり、Los Angelesとの路線が存在しますが、便は限られています。



Everything happens for a reason.

山本 悟士さん



どんな瞬間にも、そこには未来が詰まっている

Everything happens for a reason.

アメリカに来て強く感じるようになった言葉です。

使う言葉も、生きている時間軸も、価値観も文化も違う、何もかもわからない場所に飛び込んだあの日から、数えきれないほどの出来事、感情を経験し、たくさんの人と出会い、僕のアメリカ生活は進んでいきました。決して簡単な日々ではありませんでしたが、ここまで来られたのは、誰一人として欠けてはならない僕を支えてくださった全ての方がいたおかげです。

大学が位置するRiversideという場所は、アメリカ西海岸最大の都市Los Angelesから車で東に90分ほどの場所にあります。年間を通して雨の日は両手で数えられるほどで、晴れ渡る青空と、ありとあらゆる場所で雄大な自然が広がる、まるで映画の中の世界のようなCaliforniaでの生活でした。世界各地から人が集まり、Diversityを象徴するこの国での学習は、年齢も性別も何もかも関係なく、それぞれが自分の意見をしっかり持ち、それを出し惜しみなく発言する環境は僕が本当に求めていたもので、素晴らしい時間でした。

僕たちはInternational Villageで寮生活を行いました。授業

があるExtension Centerやキャンパスまでは歩いてどちらも10分以内の場所で、基本的に自炊をして過ごします。Thanksgivingの日に寮の友達と、それぞれの国の料理を持ち寄ってFriendsgivingを行ったことが特に印象に残っている寮生活での思い出です。

週末などには、様々な場所に出かけました。South Californiaのビーチの景色や、ヒスパニックの影響を持つエリアならではのメキシカンフード、そして、僕の夢であった、MLBをこの目で見られたことは一生忘れられない思い出になりました。

自分の目で見て、自分の足で歩いてきたこの9ヶ月間。僕の人生にとってこのアメリカでの日々は、壮大で、刺激的で、かけがえのないものでした。たくさんの方のおかげで夢を叶えることができました。決して妥協することなく、行動し続けたそんな全てのことに理由があったのだと言えます。見たことのない景色へ、大切な人たちと共に進んだこの時間は僕の人生の宝物です。心から、アメリカに来て良かったと思います。

これからも自分の芯を曲げずに、常に支えてくださる方々への感謝の気持ちを強く抱いて、ここでの日々を思い出して、前に進んでいきます。

今日からまた始まる、新しい物語へ。

キャンパス

図書館やStudent Union、Cafeteria等多くの設備が整っており、正規の学生と同じように利用することが可能です。また広大なキャンパスを安全に移動できるよう、夜間にはエスコートサービスが利用できます。キャンパスの外にもUniversity Villageと称する施設があり、1階に様々な種類の飲食店や商店が入っています。University Villageには映画館もあり、平日の午前中には授業用教室として活用されています。1年間の滞在の形態としては、キャンパスに隣接した学生レジデンスに入居します。



Riversideについて

ほとんど雨の降らないカリフォルニアの砂漠地帯に19世紀終わりから20世紀にかけて柑橘類の栽培が始まったことをきっかけに発展してきたのがRiversideです。Los Angelesのような大都市の喧嘩から離れ、学習や研究に集中しやすい街と言えるでしょう。そのためかUC Riverside以外にも3つの大学がこの地にキャンパスを構えています。交通に関してはバス路線もありますが、住民の基本的な移動手段は自家用車です。



University of California, Davis



URL <https://www.ucdavis.edu>

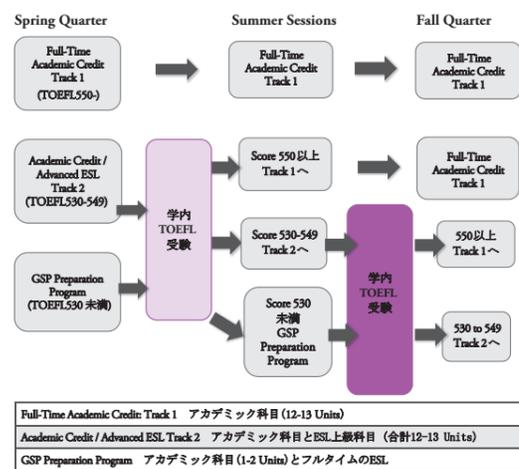


所在地	One Shields Avenue, Davis, CA 95616
創立年	1959年
運営	公立
参考学費	ESL+Summer session+Academic(7,800+8,200+8,200) : \$24,200
滞在方法	ホームステイ

基本情報

University of California, Berkeleyの農学専門学校として1909年に開設され、1959年に1キャンパスとして独立しました。College of Agricultural and Environmental Sciences、College of Engineering、College of Letters and Science、College of Biological Sciencesという4つのカレッジと、School of Education、School of Law、Graduate School of Management、School of Medicine、School of Veterinary Medicineなどの専門職大学院を持っている総合大学です。これらの組織により102の学部専攻課程と101の大学院プログラムが提供されています。現在の学生数は学部生が約31,000人、大学院生が約8,000人で、そのうち約17.5%が海外からの留学生です。生物学、農学を中心とした理系分野の研究で有名ですが、教育学にも定評があります。また、East Asian Studies関連の科目も多く存在します。

レベル別の履修形態



空港からのアクセス

San Francisco国際空港からUC DavisキャンパスまではDavis Airporterという会社のシャトルバスを利用して移動するのが一般的です。片道の料金は\$110、所要時間は渋滞がなければ約1時間半です。San Franciscoから鉄道で移動することも可能です。乗り継ぎ地点であるRichmondまでの便が20分毎、RichmondからDavisに向かう便が1時間毎に出ており、全体の所要時間は1時間半から2時間です。鉄道の場合、料金は\$30程度で済みますが、慣れないうちはAirporterを使うのが無難です。



現地スタッフからのメッセージ

The GSP is a unique program that offers you access to a world-class education at one of America's top public research universities while also ensuring you are surrounded by advisors and staff who will assist you in meeting your academic and personal goals. I encourage you to learn more about our program and to come experience our world-class campus and safe, friendly college-town for yourself!

Jacob Hosier



全てに全力投球した最高のDavisライフ

佐藤 和香さん



有限の時間の中で自分史上最大の挑戦を

Davisはカリフォルニアの州都サクラメントから車で20分の距離にある小さなカレッジタウンです。治安もよく、緑にあふれ、温かい人が多いこの街の雰囲気は私は大好きです。大都市のサンフランシスコにも日帰りで行けるため、観光も楽しむことができます。

UC DavisのSAプログラムではTOEFLで一定のスコアを満たしていれば、最初の学期から現地生に交じってアカデミック科目をとることが可能です。日本の大学では学べないようなユニークな授業が開講されていて、自分が興味のある授業をたくさん履修できることも魅力の一つです。UC Davisは農業系に関する授業が有名で、食文化に興味があった私は、栄養学や食品化学の授業を中心に受講しました。最初は日本と異なる授業形態に戸惑い、先生やクラスメイトの発言内容もほとんど聞き取れず、悩むことも多かったですが、周りの友達が優しく助けてくれたおかげで、乗り越えることができました。だんだんクラスにも慣れ、周りの発言内容がわかることがモチベーションになり、自分自身で成長を感じられることが嬉しかったです。

UC Davisには800以上のクラブ団体があり、クラブ活動を通して友達を作るべきだと言われていました。私は日系クラブに所属し、休日は友達とご飯を食べに行ったり、自然を見に行ったりしました。みんなとても優しくフレンドリーで、離れたくないと思う友達ばかりです。また、滞在中に様々なボランティア活動に参加しました。アメリカではみんな積極的にボランティア活動に参加していて、刺激を受けました。活動中にたくさんの人とコミュニケーションをとり、自分の視野を広げることができました。

アメリカで人生初の骨折をしたり、真夏の猛暑日に家が停電になったり、ハプニングもたくさんありましたが、Davisで過ごした9ヶ月は毎日が充実していて、自分史上最も濃い時間でした。UC DavisでSAができて幸せだったと感じています。UC Davisは学業と課外活動の両方に全力で挑戦したい人に最適なSA先です!



キャンパス

UC DavisのキャンパスはDavis駅の西、徒歩で15分程度のところにあります。多くの学生は自転車または通学バス (Unitrans) で大学に通っています。学生寮はありますが、正規の学生が優先入居するため、中短期留学生の多くはホームステイを利用します。GC学部の学生が参加するUC Davis Global Study Program (GSP) では、図書館やアスレチックジムなど、あらゆる大学設備を他の学生と同じ条件で利用することができます。キャンパスの東側と西側にカフェテリアや食堂があり、\$10くらいで昼食を取ることができます。広大なキャンパスには消防署や警察署も存在します。また、多くの学生が自転車を利用しているため、自転車修理店もあります。



Davisについて

Davisは比較的小さな大学町ですが、その分、様々な商店や施設がダウンタウンの徒歩圏内に集中しており、留学生でも日常生活に不便することはありません。治安が比較的良く住みやすいことに加えて、最近では全米でも特に教育が盛んな地域としても知られています。学生をはじめ、住民の自転車利用率が高く、そのためのインフラ整備も進んでいることから「自転車の町」であることも特徴です。町の中やUC Davisキャンパスでは、自転車の形を取り入れた意匠が目につきます。2010年にはダウンタウンに程近いCentral Parkに全米自転車殿堂が開設されました。



Arizona State University



URL <https://www.asu.edu/>
 (course catalog : <https://webapp4.asu.edu/catalog/classes>)



所在地	Tempe, Arizona, 85281 USA
創立年	1885年
運営	公立
参考学費	ESL+ESL+Academic(3,525+3,175+16,300) : \$22,650
滞在方法	ホームステイ

基本情報

Arizona State University—通称ASU（アリゾナ州立大学）Tempe校はArizona州Tempe市（州都Phoenixに隣接）にあり、1885年に設立されたArizona州最大、最古の州立大学です。ASUのキャンパスは全部で4ヶ所ありますが、Tempeのキャンパスには60,000人近くの学生が在籍し、160以上の国からの留学生が学んでいます。ASUの多くの部門はUS News and World Reportによって全米50位以内にランキングし（理工系中心）、これまでも3人のノーベル賞受賞者、4人のピューリッツァー受賞者を輩出しています。砂漠の景観を生かした広大なキャンパスにはFrank Lloyd Wright（フランク・ロイド・ライト）による有名なホール（グラディ・ガメージ講堂）の建築物もあり、アメリカ南西部の自然と調和した美しい大学です。

レベル別の履修形態

- TOEFL ITP®テスト 490-500+GPA3.0以上
3月上旬～5月上旬 ASU Global Launch (ESL) でスプリングセッション (57iBT)
- 5月中旬～7月中旬 ESLでサマーセッション
- 8月下旬～12月中旬 ASUで正課授業

*出願申請の際、卒業した高校の3年間分の成績証明書（英文）が必要
 *3月から5月までのESL上級クラス・レベル1 (Advanced 1) で「A」か「B」、5月から7月までのESL上級クラス・レベル2 (Advanced 2) で「A」か「B」の成績を修めれば、TOEFL®テストが免除され、ASUの正課プログラムに進むことができます。



空港からのアクセス

Tempeは州都Phoenixの都市群の東部に位置しています（フェニックスの都市群を形成する市には他にスコッツデール、メサ、グアダルーペ、ギルバード、チャンドラー市などがあります）。Arizona州の玄関口であるSky Harbor国際空港は市の北西にあり、Tempe市へのアクセスもよく、Tempe市は州都Phoenixに隣接しているため、大学へも空港から15～20分ほどしかかかりません。



現地スタッフからのメッセージ

Erin McCloskey is the Program Coordinator for ASU Global Launch dedicated to serving the Japanese students and staff at Doshisha. Erin has lived and worked many years internationally, in countries such as Spain, Puerto Rico, Peru, Thailand, China, Taiwan and Vietnam as well as with international students in both formal and volunteer organizations. As a learner of other languages and as a teacher, she enjoys being part of the Global Launch team to foster relationships that are meaningful and life-changing in an educational environment. She enjoys spending time hiking and walking in beautiful Arizona, and she looks forward to making sure the Doshisha students have an amazing experience.

Erin McCloskey, Program Coordinator, Global Launch



一生の友達と一生の宝物

神谷 京佳さん



自分から一歩踏み出すということ

街はサボテンに囲まれ、夏は45度にも達するアリゾナという地で、Arizona State Universityは交通の便のよい、広大な敷地にキャンパスを構えています。私が唯一恐れていた夏の暑さも、湿気がなく日本ほど蒸し暑くはないため、想像していたよりは大丈夫だというのが正直な感想です。

Global Launchと呼ばれる語学学校では、現地学生のチューターアシスタントが毎週企画してくれるピザパーティーやカラオケをみんなで楽しむことができます。それだけでなく、NBAやグランドキャニオンに連れて行ってくれるといった特別なイベントも多々あり、イベントに参加することで、よりいっそう充実した生活を送ることができます。語学学校の5ヶ月間は、ただ英語を学ぶ期間ではなく、世界中から集まる学生とアメリカでしかできない経験ができる、かけがえのない時間です。そんなGlobal Launchが大好きで、私は卒業後も、ボランティアとしてアクティビティに参加し、今度はサポートする側として携わりました。アカデミックの授業が始まると、さらに出会いの幅が広がります。アメリカ人はもちろん、様々な背景を持つ人々がいて、毎週のように遊びに行くかけがえのない友達に出会いました。語学学校とは異なり、英語で新しいことを学ぶという環境の中、ディスカッション

ョンやグループプロジェクトなどが多いクラスでは特に大変だと感じることもありましたが、周りに助けられ、今では自然にみんなの会話に入っていくことができるようになりました。

私は一年前、たった一人で渡米し、初めは右も左も分からない、親しみのある頼れる人もいない状況でSAがスタートしました。そのような中で、困難に直面することは数えきれないほどありました。しかしそんなとき、自ら誰かを頼る勇気を持つことが、何よりも重要だと学びました。どのSA先であっても、自分次第で何もかもが変わります。自分が一歩踏み出すかどうか、出会い、経験、思い出を大きく変えると思います。心の底からまたここに会いに帰ってきたい、そしていつか日本にも会いに来て欲しい、と思える人にたくさん出会えたことが、私にとってのSAの醍醐味でありここに来た意味だと感じます。アメリカ、ASUを選んだ自分を誇りに思うほど、そういった人たちとかけがえのない時間を過ごせたことは私の生涯の宝物です。皆さんも、人との出会いを大切に、充実した、満足のいくSA生活を送れることを祈っています。



キャンパス

図書館、スチューデントユニオン、メディカルセンター、ジムなど、勉学と毎日の生活に必要な設備が完備されています。3月のプログラム開始時から、一般のASUの学生と同じようにそれぞれの設備が使用可能です。また、ESLの授業はキャンパスの様々な建物の教室で実施されているので、大学の雰囲気を感じることができます。宿舎はホームステイが基本となります。価格は月額US\$660前後です。ASUの寮についてはタイミング的にも応募は難しいのが現状です。



Tempeについて

Tempeの気候は、4月から10月にかけては温暖で過ごしやすく、日中の気温は摂氏15度から27度です。夏はかなり暑くなり、その平均気温は38度ですが、湿度が低いので、比較的過ごしやすいと言われています。冬には雷雨が時折見られますが、年間を通して雨はほとんど降りません。ダウンタウンには様々なレストランやカフェ、お店が並び、活気あふれる街になっています。建物はれんが造りの外観で統一され、街全体がとてもきれいな雰囲気です。治安も良く、金曜日や週末の夜には学生であふれかえります。



Acadia University



URL <http://www.acadiau.ca/>

(course catalog : <https://www2.acadiau.ca/academics.html>)



所在地	15 University Avenue, Wolfville, Nova Scotia, B4P 2R6, Canada
創立年	1838年
運営	公立
参考学費	ESL+ESL+Academic+Academic (2,265+4,840+4,280+11,229) : CA\$22,614 学部間協定に基づく交換留学制度あり
滞在方法	ホームステイまたは寮 (ホームステイに空きがない場合は寮になります)

基本情報

1838年バプティストによって設立された大学です。主としてUndergraduateの教育を行う学部重視大学で、カナダ有数の名門大学として認知されています。学生数は約3,500人、うち留学生が約10パーセントを占めています。Faculty of Arts, Faculty of Pure and Applied Science, Faculty of Professional Studies, Faculty of Theologyの4つの学部があり、このなかの科目を組み合わせることで、200以上の学部プログラムを提供しています。小規模大学ならではの少人数教育が特色で、“a personalized and rigorous liberal education”を行うことを大学のミッションと位置づけています。またIT環境の整備にも力を入れていて、ITを取り入れた先進的な授業が試みられています。



レベル別の履修形態

●ケース1 (渡航時TOEFL ITP500-529 IBT59-68 IELTS5.0)*
2月中旬～3月下旬: ESL (EAP レベル1000**)
3月下旬～6月上旬: ESL (EAP レベル2000)
6月中旬～8月下旬: ESL (EAP Bridging***)
9月上旬～12月中旬: Academic

●ケース2 (渡航時TOEFL ITP530以上 IBT69-89 IELTS5.5-6.0)
2月中旬～3月下旬: ESL (EAP レベル2000)
3月下旬～6月上旬: ESL (EAP Bridging)
6月中旬～7月下旬: Academic
9月上旬～12月中旬: Academic

*ケース1のスコアがない場合は、クラス分けテストによってクラスが決まる。

**English for Academic Purpose

***BridgingではESLと並行してAcademicを1科目履修。科目は決められています。

空港からのアクセス

日本から最寄りのHalifax空港まではトロントなど他都市を経由します。Halifax空港からAcadia大学までは、Acadia大学が手配するリムジンバスで向かいます。所要時間は約1時間です。



現地スタッフからのメッセージ

It is an honor to welcome students from Doshisha University to study at Acadia University. Acadia University is one of Canada's top undergraduate universities. It is located in Wolfville, a small, safe, welcoming town on the east coast of Canada. At Acadia, you can immerse yourself in Canadian culture with our homestay, culture class, and community programs. With our small class sizes, you can get plenty of attention and support from your professors. Despite our small size, we are known for world-class instruction and programming. From renewable energy to community development to social justice, our students engage in fields relevant to a rapidly changing world. I look forward to welcoming you to the Acadia University family!

Sharon Churchill Roe [Manager, English Language Centre]



一度きりの人生に焼き付ける留学生活

中澤 和夏さん



成長するチャンスを掴めるかは自分次第

カナダ東部に位置するノバスコシア州はカナダで二番目に小さな州で、ウルフビルは人口5000人ほどの、豊かな自然と伝統的な文化を魅力とする小さな町です。現地のイベントやフェスティバルではコミュニティの温かさや強固さを感じられます。

私は、Acadia付属の語学学校 (EAP) を5月に卒業。6～7月は、サマーコースを2科目受講し、空いた時間は国内や合衆国へ旅行しました。9月初旬に新入生向けのオリエンテーションで、多くの新しい友達と出会えました。アカデミックコースでは5つの授業を受講。毎月指定された本を読み授業時間内にエッセイを書くテストがある授業、ディスカッションが行われる授業、計4回のテストのみで評価される授業など、様々な形態の授業があります。3,500人の学生のうち10%が留学生なので、国際色豊かで、文化の違いやコミュニケーションスタイルの違いに圧倒されました。性についてオープンであったり、時には宗教を勧められたり、カナダの強みでもある寛容政策、文化の多様性を感じました。

また、女子サッカー部のトライアウトを受け、クラブに入部できました。放課後には毎日筋トレや練習、週末には試合が行われ、

スポーツを通しての新しい出会いもあり、とても充実した生活を過ごせました。全学生の約8%がstudent-athleteと呼ばれ、体育会系のクラブ活動に所属しています。クラブやボランティア活動がたくさんあるので、積極的に、前向きに挑戦することをお勧めします。

小さい町なので、やることがない、と感じるかもしれませんが、自分から新しいことへチャレンジし、いつもの自分の領域から一歩踏み出してみてください。10か月半はあっという間です。新しい発見、学び、成長するチャンスを掴めるかは自分次第。この留学を通して、人生において後悔の残らないよう、毎日を一生懸命に、全力で楽しむことの大切さを学びました。この経験が私の中でかけがえのない、一生の宝物にできたことを誇りに感じています。



キャンパス

広々とした敷地に歴史的な建物が並び大変美しいキャンパスです。比較的小規模な大学で、キャンパスを歩き交う学生もフレンドリーでキャンパス全体がゆったりとした雰囲気につつまれています。学生一人ひとりに対するサポートも充実しており、小規模な大学ならではの魅力に満ちています。図書館、Student Union, Cafeteriaなども充実し、恵まれた学習環境が用意されています。図書館は深夜までオープン、落ち着いた勉強する環境が整っています。各教室にはIT設備が完備され、古い伝統あるキャンパスのなかで、ITを活用した最先端の教育が行われています。キャンパスと街はほとんど一体となっていて、1つのコミュニティを作り出しています。大学の行事はコミュニティの行事でもあり、週末に大学のAmerican Footballの試合があるときは、街全体で応援します。



Wolfvilleについて

Acadia大学のあるWolfvilleはHalifaxから北西に100キロ、Nova Scotia半島の対岸に位置します。人口約5,000人のとても小さな街ですが、生活に必要な施設は一通りそろっています。WolfvilleのMain Streetにはヨーロッパ調の建物が並び、花と緑に彩られた色彩豊かで可愛らしい風景が楽しめます。街の治安も比較的良く、地域の住民も心優しくフレンドリーです。Wolfvilleから車で4キロのNew Minasには大型スーパーや量販店があり、週末のちょっとした気晴らしにショッピングなどに出かけてみるのもいいでしょう。



Vancouver Island University



URL <https://www.viu.ca/>

(course catalog : <https://www.viu.ca/programs/courses>)



所在地	900 Fifth Street, Nanaimo, BC Canada V9R 5S5
創立年	1969年
運営	公立
参考学費	ESL+ESL+Academic (3,076+7,200+8,800) : CA\$19,076
滞在方法	前半：ホームステイ、後半：ホームステイまたは寮（空室があれば）

基本情報

1969年にMalaspina Collegeとして設立され、2008年9月1日にVancouver Island Universityとして、大学に昇格しました。4つのキャンパスで約18,000人の学生が学ぶ中規模大学です。SA先であるNanaimo Campusがメイン・キャンパスです。Business、Tourism and Hospitality、Science and Technology、Art、Design and Performing Arts、Humanities、Education、Health Science、Human Servicesなどの分野があり、実務の分野に特に秀でています。実務的な事柄に関する授業を取ってみたいという学生には特に向いていると言えるでしょう。



レベル別の履修形態

●ケース1 (渡航時 IELTS 6.0*)

- ① 2月下旬-4月中旬: ESL (University Preparation 5)
- ② 5月上旬-6月中旬: ESL (University Preparation 5)
- ③ 6月下旬-8月上旬: Academic (正課科目)
- ④ 9月上旬-12月中旬: Academic (正課科目)

●ケース2 (渡航時 IELTS 6.5**)

- ① 2月下旬-4月中旬: ESL (University Preparation 5)
- ② 5月上旬-6月中旬: Academic (正課科目)
- ③ 6月下旬-8月上旬: Academic (正課科目)
- ④ 9月上旬-12月中旬: Academic (正課科目)

*全てのバンドが5.5以上である必要があります。なお、③の期間は受講できる科目が限られることがあります。

**全てのバンドが6.0以上である必要があります。なお、②③の期間は受講できる科目が限られることがあります。

空港からのアクセス

日本から最寄りのNanaimo空港まではバンクーバーを経由します。Nanaimo空港から街の中心地までは車で約20分。到着時にはNanaimo空港にホストファミリーが迎えにきます。



現地スタッフからのメッセージ

Welcome to Vancouver Island University (VIU), where our campus is nestled between the ocean and the mountains in beautiful Nanaimo, British Columbia. VIU is always ready and excited to welcome students from Doshisha. At VIU, we deeply value student diversity as it provides unique perspectives and experiences that enrich the lives of all who work and study on campus. As an international student at our campus, your cultural perspective will not only be valued, but celebrated. Throughout your academic journey at our institution, you will be supported through a range of services and encouraged to expand your student experience through a variety of academic and social activities. We look forward to meeting you!

Carolyn Russell, Vice-President Students



10ヶ月で広がった私の世界

城一 倅穂さん

失敗を恐れず挑戦してみよう、
未来の自分のために

これからの生活に胸を躍らせながらも、不安でいっぱいのまま私のSAはスタートしました。しかし、VIUでのさまざまな経験のおかげで、自分に自信を持てるようになり、精神的に大きく成長することができました。

VIUはバンクーバー島に位置するナナイモ市にある国際色あふれる大学で、多様な文化的背景を持つ人達と交流することができます。大学から多方面にバスが出ており、放課後に友達と遊びに行くことも多かったです。語学学校では、ほぼ毎授業ディスカッションをして、多くの価値観に触れると同時に、スピーキング力を上げることができました。一方、アカデミックでは実践的な授業が多く、自分の興味ある分野を自由に選択することができます。友人は政治学やフランス語の授業をとっていましたが、私は、観光学や先住民研究の授業をとりました。なかでも、実際にホテルを訪れてオーナーや従業員から直接ホスピタリティマネジメントを学んだ授業は興味深かったです。先住民研究の授業では、先住民にゆかりのある場所を訪れてその価値観を学びました。また、先生方からのサポートも手厚く、ライティングセンターの無料添削サービスをよく利用していました。

そして、VIUにはCulture Couchという異文化理解に取り組む場所やLocal Hikeという野外活動など多くのイベントがあり、友達作りには困りませんし、貴重な時間を過ごすことができます。特に心に残っているのは、大学の紹介でロッキー山脈の旅行ツアーに参加したこと。氷河の上を歩いたり、パフアローの肉を食べたりと日本ではできないことを体験できました。他にも、伝統的な食べ物を試食するCulture Couchでは、現地の人に日本文化について紹介し、おにぎりや味噌汁を振る舞いました。World VIUというイベントで日本の歌を披露したことも大切な思い出です。

VIUでのさまざまな経験は、間違いなく私を大きく成長させてくれました。英語力の向上はもちろんなこと、失敗や苦労を乗り越えた1つ1つが自信につながり、チャレンジ精神が身につきました。皆さんのVIUでのSA生活も、実りあるものになることを祈っています。



キャンパス

キャンパスはNanaimo Harborから高台に2キロほど上ったところにあります。タクシーだと5〜6分、徒歩だと30分強かかります。キャンパスからは海が見渡せて、すばらしい眺望です。建物はどれも清潔で新しく、図書館も充実し、十分なコンピュータ・スペースもあります。Cafeteriaは料理を学ぶ学生によって食事が調理されるなど、実務教育を重んじるこの大学らしい取り組みが行われています。その他、本屋や文具などを売る店なども充実しています。キャンパスの一角には日本の大学が寄贈した美しい日本庭園があり、日本とのゆかりも深いことがうかがえます。



Nanaimoについて

Nanaimoは、大都市Vancouverの対岸に位置するVancouver島南部のリゾートタウンで、自然豊かな美しい街です。Commercial Streetと呼ばれる中心の通りに沿って銀行や商店がこじんまりと並んでいて、30分もあれば十分見てまわれる大きさです。また、海岸沿いにもレストランや土産物店が並んでいます。自然にも恵まれた環境で、Nanaimo Harborからの風景はすばらしく、治安もいたって良好です。カヌーなど、さまざまなアウトドア・アクティビティも楽しめ、室内プール、スケート場などもあるので、スポーツを楽しむにも最適な環境です。地理的にVancouver、VictoriaそしてアメリカのSeattleとも近いことから、週末や連休などを利用して観光に行くのもよいでしょう。



University of Guelph



URL <https://www.uoguelph.ca/>
 (course catalog : <https://colleague-ss.uoguelph.ca/Student/Courses>)

所在地	50 Stone Road East, Guelph, ON N1G 2W1, Canada
創立年	1964年
運営	公立
参考学費	ESL+Academic (10,500+12,800) : CA\$23,300
滞在方法	前半 : ホームステイ、後半 : ホームステイまたは寮 (空室があれば)

基本情報

1874年に設立されたOntario School of Agricultureを母体として、1964年に設立された総合大学です。教育、研究ともにトップレベルで、カナダのニュース雑誌Maclean社が毎年発表している大学ランキングで常に上位を保つ名門校です。また、カナダ最大の全国紙であるThe Globe and Mailが実施したカナダ大学評価において、生徒満足度、授業の質、教師陣の接しやすさ、キャンパスの雰囲気、環境への貢献度等の項目で常に高評価を収めています。90以上の専攻を有し、約30,000人の学生が学んでいます。心と身体のバランスを重んじる大学で、学業とともにスポーツをすることも推奨され、クラブ活動も大変盛んな大学です。



レベル別の履修形態

●ケース1 (渡航時TOEFL ITP463-496 IBT50-59 IELTS5.5)

3月、4月: ESL (ELCP レベル6*)
 5月、6月: ESL (ELCP レベル7)
 7月、8月: ESL (ELCP レベル8)
 9月上旬~12月中旬: Academic

●ケース2 (渡航時TOEFL ITP497-516 IBT60-66 IELTS6.0)

3月、4月: ESL (ELCP レベル7)
 5月、6月: ESL (ELCP レベル8)
 7月、8月: ESL (ELCP レベル9)
 9月上旬~12月中旬: Academic

●ケース3 (渡航時TOEFL ITP517以上 IBT67以上 IELTS6.5以上)

3月、4月: ESL (ELCP レベル8)
 5月、6月: ESL (ELCP レベル9)
 7月、8月: ESL (ELCP レベル10)
 9月上旬~12月中旬: Academic

*English Language Certificate Program
 **プレACEMENTテストの受験が必須です。プレACEMENTテストの結果が優先され、受講開始レベルが決定する場合があります。

現地スタッフからのメッセージ

It is with a great deal of pleasure that I extend a warm welcome to students from Doshisha University's Faculty of Global Communications. At the University of Guelph, we value our important and strong partnership with Doshisha University, based on our mutual commitment to providing students with a global perspective that enriches the communities we live in. When you study at the University of Guelph, you will become part of a student body who share a spirit for innovation, collaboration and social consciousness. This environment provides opportunities for you to enrich your language skills as you gain valuable life experiences, make important contacts and to make a difference in the world. We are confident that the time you spend in our language program as well as our undergraduate courses and participating in extracurricular activities will be an unforgettable experience. I look forward to welcoming you to Guelph!

David Siefker



空港からのアクセス

最寄りのToronto空港までは日本から直行便が出ています。Toronto空港からGuelph大学までは、Guelph大学が手配するリムジンバスで向かいます。所要時間は約1時間です。



キャンパス

470ヘクタール(東京ドーム100個分)の広大なキャンパスは、19世紀の古い建物と最新設備を備えた新しい建物が調和し、美しく機能的な空間を作り出しています。図書館、2つのアイススケートリンクやスポーツセンター、カフェテリア、最新の実験施設がある工学部など非常に充実した設備を誇ります。なかでもスポーツセンターは2016年に改装・拡充され、設備が更に充実しています。Field Houseと呼ばれるドーム型のグラウンドもあり、一年を通してサッカーなどの屋外スポーツが楽しめます。勉学に励みながら、スポーツやトレーニングなどで気分転換をしてみるのもいいでしょう。大学の敷地内にはArboretumと呼ばれる大きな植物園があり、学生だけでなく多くの地域住民の憩いの場となっています。



Guelphについて

Torontoから南西約100キロのところにあるGuelphは人口約14万人の都市で、GuelphからToronto市内中心部にあるバスターミナルまで1時間20分程度で、料金は片道10ドル程度の道のりです。スコットランド出身の小説家John GaltがUpper Canada開拓の目的で1825年に設立したCanada Companyの拠点として、1827年に町の建設が始まった歴史ある街です。ヨーロッパの街をモデルに設計されたGuelph市内には、市庁舎や聖母教会など数多くの歴史的建造物が残っています。中心街、および大学の近くには大型のモールや映画館などがあり、日々の生活を快適に過ごすことができます。



コツコツ努力型におすすめの大学です

太郎丸 夢さん



日々の努力を怠らない

皆さんのより充実したSA生活のために、ゲルフ大学の魅力とSA中の体験についてお話しします。私は、語学学校で3月から8月上旬まで学び、3学期を修了しました。学期と学期の間には数週間の休みがあり、その期間に旅行などを楽しむことができました。

語学学校の大きな特徴として、充実した課題と多彩なアクティビティが挙げられます。課題の量は他のSA先の語学学校と比べて多く、これは私がゲルフ大学を選んだ理由のひとつです。友達を積極的に作ったり、イベントに参加したりすることで実践的に英語を学ぶことももちろん重要ですが、私は自分のペースでコツコツと努力を積み重ねていく英語の学び方が合っていたので、授業とエッセイ、プレゼンテーション、ディベートなど様々な課題を通じて「聞く」「話す」「読む」力を確実に向上させることができました。

また、語学学校では豊富なアクティビティが用意されており、例えば、ナイアガラの滝への遠足やカヌー体験、ムービーナイトなどがあります。こうしたアクティビティを通じて、多くの留学生と交流を深めることができました。

9月から始まるアカデミック授業では、多くの学生が3つの授業を受講します。授業形態は様々で、自分の学習スタイルや興味に合わ

せて選ぶことができます。私は、心理学、世界史、観光学を選びました。授業内容は専門的かつアカデミックな英語が使われるため、難しく感じることもありましたが、ゲルフ大学の語学学校で基礎をしっかり固めていれば問題なく対応できます。

アカデミック授業はアウトプットよりもインプットが中心になるため、私は日常生活でアウトプットの機会を増やすことを意識していました。その一つがホストマザーとの会話です。その日学校であったことや友達との出来事など、積極的に話題を作りたくさん話すよう心がけました。また、ホストファミリーが開催するホームパーティーにも毎回参加し、多くの人と交流しました。こうした取り組みを通じて、英語でのコミュニケーション力を高めることができたと感じています。

ゲルフ大学でのSA生活は、学びと成長にあふれた素晴らしい経験で、どの経験も私を成長させてくれたと感じています。



Brock University



URL <https://brocku.ca/>

(course catalog : <https://brocku.ca/webcal/courses.php>)



所在地	500 Glenridge Avenue St.Catharines, Ontario, L2S 3A1
創立年	1964年
運営	公立
参考学費	ESL+Academic (8,510+15,975) : CA\$24,485
滞在方法	前半 : ホームステイ、後半 : ホームステイまたは寮 (空室があれば)

レベル別の履修形態

●ケース1 (渡航時TOEFL ITP500 IBT61 IELTS5.5)

3月上旬～4月 : ESL (IELPレベル4*)
5月～8月 : ESL (IELPレベル5)
9月上旬～12月中旬 : Academic

●ケース2 (渡航時TOEFL IBT88 IELTS6.5**)

3月上旬～4月 : ESL (IELPレベル5)
5月～8月 : Academic
9月上旬～12月中旬 : Academic

ケース1のスコアがない場合、渡航前のレベルテストによりスケジュールが決まります。

*Intensive English Language Program

**TOEFL iBT 全てのバンド21以上 IELTS全てのバンド6.0以上

基本情報

Brock大学は、1812年の英米戦争で英国軍を率い、自らは命を落としながらもアメリカ軍の侵攻からカナダの国土を守った名将、Isaac Brock卿に因んで1964年に設立されました。学士課程、大学院課程を擁するカナダの総合大学で、きめ細かい教育と卒業後の就職率の高さに定評があり、現在約19,000人が在籍しています。留学生も多く、110以上の国から約2,300人（その内200人が語学学校生）が学んでいます。人文学、社会学、ビジネス、環境学、国際政治などの分野において120以上のコースを開講しています。歴史ある学問を守る一方、新しい時代を見据えたコースの開発にも熱心であり、最近では、ゲームデザインやゲームプログラミングといったコースが新しくスタートしました。大学付属語学学校は1982年から歴史があります。語学学校生にもPCルーム、カフェ、ジム、図書館などの大学施設が開放され、また大学の多様な活動にも参加することができます。

空港からのアクセス

日本からはToronto Pearson国際空港への直行便が出ています。Toronto空港からホームステイ宅のあるSt.Catharinesまではリムジンバスで約1時間の距離です。



現地スタッフからのメッセージ

Brock University is a top destination for students looking to study English. We make it our goal to ensure every student has the best learning experience possible during their time with us. Our staff team combines a strong curriculum with external learning opportunities and integrated campus life activities to help our Intensive English Language Program (IELP) students experience campus life in Canada. Brock University also has strong ties to the Niagara region where we are located, allowing you to become members of our community and explore our surrounding area, including Niagara Falls, Niagara-on-the-Lake and Toronto. We look forward to welcoming you to our campus.

Nathan Cheney, Director, Professional and Continuing Studies

語学力だけでなく、
内面の成長も実感できた10ヶ月間

山本 紗良さん

カナダならではの多文化主義を
存分に楽しむSAに!

カナダの中では温暖で、治安もよいSt. CatharinesにあるBrock大学でのSAは、とても有意義な時間でした。

語学学校 (ESL) では、ペアグループで行う活動を通してクラスメイトとの仲が深まり、幅広い題材やプレゼン・エッセイなどの様々なアクティビティで、楽しく英語力を伸ばすことができました。Academicは、ミニシアターのような大教室で受けるlectureと積極的な授業参加が求められるseminarで構成されています。履修可能なコースの選択肢は幅広く、日本では珍しい科目や日本の授業とは違った視点を得られる科目もあり、興味のあるものばかりです。今年度(2024年度)に私たちが履修した科目は、レクリエーションとレジャー・ツーリズム・メディア・ウェスタンアート・ヨーロッパ史・現代と未来の仕事などです。授業についていくのは大変ですが、内容や現地の学生との議論に刺激され、楽しさを見出すことができます。

また授業以外では、24時間開館の建物があるうえ、追加費用なしでジム・ダンススタジオ・グラウンド、学内クリニックが利用でき、試験期間中には、深夜の無料タクシーも提供され、快適な学生生活を

送ることができます。クラブの数も多く、新設のJapanese Societyでは、日本語や日本文化を教える授業を行う中で現地の友達が増え、英語力も向上しました。

学期間休暇には、カナダ国内の各地はもちろん、夜行バスで8時間で到着するニューヨークをはじめとした米国、さらにはメキシコ、ヨーロッパにも旅行しました。

Brock大学でのSAで、語学力だけでなく、人間性や精神面での成長も実感できました。多文化主義のカナダは、日本とは違うところが多く、私たちはそれに対応していかなければなりません。あたりまえを疑い、固定概念を見直し、自分の無知を客観視したうえで、新しい文化・慣習・価値観を理解する気持ち。そのすべてを受け入れて自分に取り込むことはできなくても、それらの存在を認め、尊重する。その大切さを、この10ヶ月で学ぶことができました。



キャンパス

Brock大学はオンタリオ湖とエリー湖の間にまたがるNiagara Peninsulaと呼ばれる自然と観光資源に恵まれた地域に所在します。カナダで唯一、ユネスコ自然保護区に指定された森林を敷地に擁する大学で、広大な敷地に建つ自然豊かなキャンパスが自慢です。Cafeteria、日用品店、書店など、大学生活に必要な様々な機能が備わっており、キャンパス内には近代的なデザインの建物も多く、豊かな自然と相まって非常に快適な学習環境を提供しています。アスレチックセンターや図書館は地域の住民にも開放され、キャンパスは常に多くの学生や地域住民で賑わい活気に満ち溢れています。近年は特に国際交流を積極的に推進しており、Celebration of Nations, International Education Week, International Development Week, African Heritage Monthなどといった様々な国際交流イベントが毎年開催され、キャンパスにはグローバルな香りが漂っています。



St.Catharinesについて

トロントとアメリカニューヨーク州バッファローの間に位置するSt. Catharinesは、世界的に有名な観光地ナイアガラの滝から車でほんの20分、カナダ最大の都会トロントからも車で約1時間、そしてアメリカ国境からも車で約40分と、大変魅力的な場所にあります。人口約14万人、カナダでは中規模の街です。多くのワインナーを抱えるワインの一大産地として有名な地域で、カナダ名産のアイスワインの産地としてもよく知られています。自然豊かな地域で、美しい公園や植物園が数多く存在し、別名ガーデンシティとも呼ばれています。またスキー場やゴルフコースも多いためリゾートエリアとしても観光名所としても人気があります。

トロントやナイアガラの滝、ナイアガラ・オン・ザ・レイクなどの見どころにも比較的安価なバスでアクセスが可能のため、週末のちょっとした買い物や気分転換にも行ってみられることをお勧めします。



University of Southampton



URL <https://www.southampton.ac.uk/>

(course catalog: <https://www.southampton.ac.uk/courses/undergraduate.page>)



所在地	University Road, Southampton, SO17 1BJ United Kingdom
創立年	1952年 (Hartley University College, University of Londonとして)
運営	国立
参考学費	Academic session (154,400) : £15,440 学部間協定に基づく交換留学制度あり
滞在方法	寮

レベル別の履修形態

- IELTS 5.5以上 (全てのバンドスコアが5.5以上)、GPA3.0以上
Study Year Abroad with English (Programme code: 6100)
2月中・下旬～6月: English Language and culture modules
7月～9月: Pre-sessional 11 week programmes
10月～1月: School of Humanitiesのアカデミック科目中心
(3, 4科目)



現地スタッフからのメッセージ

I look forward to talking with you about Study Abroad at Southampton and answering any questions you might have. Southampton is a friendly, cosmopolitan city just one hour from London. We offer a Study Abroad programme with a very wide and flexible range of courses to study from. With many parks, museums and art galleries, as well as beautiful countryside, Southampton is a wonderful city to visit and I hope you will decide to study with us in the future. I look forward to welcoming you to Southampton.

Xiaoyue Jiang (Luna), Faculty Internationalization Manager, Faculty of Arts and Humanities



基本情報

University of Southamptonには国内ベスト3を誇る理工学系の学部を含め、8つの社会科学、人文系の学部があります。Highfield Campusの総合図書館の蔵書数はe-booksを併せて約200万冊、試験前は深夜まで開けていて(スタッフによると夜間の開館はSouthamptonの安全さを象徴しているとのこと)、学生用のコンピュータ台数も多く、快適な学習環境が用意されています。

GCE生が所属するSchool of HumanitiesはCentre for Global Englishesをもち、World Englishesの研究・教育が活発なほか、SouthamptonがJane Austen所縁の土地であることも関連して女性作家研究でも有名です。



空港からのアクセス

Heathrow空港の場合: バス利用(National Express Coach Service)が便利です。Heathrow空港ターミナル1、2、3近くに乗り場があります。Highfield Campus Interchangeまでの所要時間は約2時間です。あとは必要に応じてUni-Linkバス利用(学生証があれば無料)。

Southampton空港の場合: タクシーで10分ほどで行けます。Uni-Linkバス利用も便利で、10分に1本のサービスがあり、所要時間は20分です。

ロンドンから鉄道利用でSouthamptonに向かう場合、キャンパスへのアクセスはCity Centre駅から市街地を経由するよりもSouthampton空港駅、Southampton Airport Parkway Stationを利用した方が交通事情が良いようです。

楽しくて、早い一年

松田 英知さん



あっという間に過ぎるので、最大限生きてください

University of Southamptonはとても多様性に富んだ大学であり、かなりの割合がインターナショナル生です。様々な国から来た学生がいるので多種多様で楽しいです。僕自身ジムやソサイエーターを通して友達を作るうちに大学や現地での生活がますます楽しくなってきました。そして日本ソサイエーターがあったのはとても個人的によかったことだったと思います。

University of Southamptonを選んでよかったと思う理由の一つは、ヨーロッパの国々が近いことです。私自身、何度もヨーロッパ各地を訪れる機会がありました。フライト料金も日本からと比べて非常に安いです。国ごとに異なる景色や文化を楽しむだけでなく、さまざまな国の人々と交流できるのは、とても貴重な思い出、経験となっています。イタリアのミラノを訪れた際、ホステルに泊まり、年齢や国籍の異なる人々と一緒に食事をし、街を見て回りました。その中で仕事の話や将来について考えるきっかけとなりました。異なる国で働く人の話を直接聞く経験は、日本で大学に通っているだけではなかなか得られないものだと感じています。

日常生活においてUniversity of Southamptonの良い点は街とキャンパスがコンパクトなところにあると思います。現地では基本的

に寮で数人のフラットメイトと住むことになるのですが、ほとんどの寮が大学からそう離れているわけではなく、徒歩15-20分もすれば大学にたどり着くことができます。買い物をする時も大学から10分ほど歩けば、かなり大規模なスーパーがあり、ほとんどの生活必需品を揃えることができます。しかも大学から無料のバスチケットがもらえるので、大学に行くのには10分もかからず、街のほぼ全体に行くことができます。ハイフィールドキャンパスには大学附属のジムや体育館があり、図書館からも近いので勉強の息抜きに運動することもできるところには、自分自身すごくありがたいと感じました。

学業についてですが、一年を通して、世界中からの留学生と受ける授業が多いと思います。到着してからすぐにネイティブの学部1年生と同じ授業と一緒に受けることができ、最初からレベルの高い授業を受けられたと感じています。秋のアカデミック受講部分では授業を四つ取れます。とても幅広い多種多様な範囲の授業から選べるのも大きな魅力だと感じています。



キャンパス

International OfficeやStudent Union、総合図書館などのあるHighfield CampusとSchool of HumanitiesのあるAvenue Campusとは徒歩10～15分の距離です。

Southamptonの英語学科は国内でも高い評価を得ていて、地元の高校生にとって難関校になっています。語学関連の専攻科目に関連する書物はAvenue CampusのSchool of Humanitiesにある図書室で参照可能で、またコース毎のリーディング資料は全てこのSchool内の図書室にフォルダに入れて保管されています。



Southamptonについて

ヴィクトリア時代に英国一の港となり、クイーンエリザベス2号など名だたるクルーズ船の寄港する港町で、かのタイタニック号も1912年にこのSouthamptonの港から航海に出ました。この港からフェリーで23分、Isle of Wightでちょっとした休日を楽しめます。ロンドンへはCentral駅か、Southampton空港駅から電車です。作家Jane Austenが19世紀の初めに3年ほど住んでいたことでも知られ、所縁の建物が色々あります。Southamptonからは電車・バスなどで1時間半程ですが、Austenが晩年8年ほど活発に執筆活動をしていたChawton HouseはSouthampton大学の研究・教育と密接な図書館になっています。



University of Sussex



基本情報

イギリスの新しい高等教育の先駆けとして約55年前に創設され、国内外での人気は高くTimes Higher Education誌の2010-2012年度の世界大学ランキングでは英国内8位、世界79位につけています。すでに3人のノーベル賞受賞者を出したほか、国内外の賞を多く受賞し、アメリカ研究では英国1位、政治学では国内2位、美術史は3位という優秀な研究業績です。総学生数は14,000人を超え、120カ国以上からの留学生が集まって国際色豊かなキャンパスです。



URL <https://www.sussex.ac.uk/>

(course catalog : <https://www.sussex.ac.uk/study/undergraduate/>)



所在地	Falmer, Brighton, BN1 9RH United Kingdom
創立年	1961年
運営	国立
参考学費	ESL+Academic(6,058+9,250) : £15,308 学部間協定に基づく交換留学制度あり
滞在方法	前半：ホームステイ、後半：ホームステイまたは寮

レベル別の履修形態

●IELTS 4.5以上 (全てのバンドスコアが4.5以上)
GPA 2.8以上

4月下旬～6月中旬: Intensive English (英語クラス grammar, reading and vocabulary development, writing skills, listening and speaking)

6月下旬～8月下旬: Pre-sessional English Course

9月下旬～12月: Academic



空港からのアクセス

ほとんどの日本便が到着するHeathrow空港の場合、バス利用(National Express Coach Service)が便利です。Brightonまでの所要時間は約2時間20分です。鉄道では乗り換えが何度もあり、荷物が多い場合は勧められません。乗り継ぎ便等でGatwick空港に着いた場合、バス利用(National Express Coach Service)の所要時間はBrightonまで約1時間、鉄道利用の場合30分ほどでBrightonに着きます。上記いずれの手段もBrightonまでなので、その先は鉄道(National Rail)を利用しキャンパスの真ん前にあるFalmer駅へ電車で8分、路線バス利用もできます。

現地スタッフからのメッセージ

Hello everyone! My name is James Minhas and the International Officer for Japan at the University of Sussex. I was once an undergraduate student at Sussex, studying American History (we are one of the top ranked universities in the UK for American Studies) and love the beautiful green campus and the nearby city of Brighton, where I live now. It is exciting to represent the University in such a wonderful country as Japan and very much enjoy coming to visit in October and March each year.

Sussex is particularly famous in Japan, as we are consistently ranked number 1 in the world for development studies by QS and have a variety of development courses in four different schools. Many of our Japanese graduates go onto work for famous institutions such as JICA, UNDP and UNICEF. Other popular subject areas for Japanese students include: Education, Business, Arts and Humanities, International Relations and Economics. It is my role to help students from Japan come to Sussex, so feel free to get in touch if you have any questions!

James Minhas, International Officer

素晴らしい環境と出会いが彩った
9ヶ月間のSA生活

大川 陽由さん



たくさんの新しい経験や発見を大切に!

Sussex大学はイギリス南部のBrightonという街に位置している大学です。Brightonにはビーチがあり、夏にはバカンスに多くの人が訪れるリゾート地として有名な街です。また、三苦黨選手が所属しているサッカープレミアリーグのBrighton & Hove Albionのスタジアムやおしゃれなカフェ、遊園地、パブなど様々な魅力があります。治安もよく、現地の人もフレンドリーで毎日充実したSA生活を送ることができました。Academic科目では国際開発学、国際関係学などの授業を履修しました。特に、開発学はイギリス発祥とされている専攻分野で、更にSussex大学はこの分野では世界ランキング1位という特徴があります。どの授業でも主体性が求められ、学生間での活発な議論が展開されていて、参加すること自体がとても楽しい経験になりました。また、Sussex大学には学生が主体の180を超えるsocietiesがあり、毎週多くのイベントが開催されており、自分が興味のある分野に簡単に参加することができます。私は週に一度ある、Language caféでドイツ語を学んでいました。このイベントは、学生が主体になって自分の母国語や得意な言語を先生として教えること

ができたり、逆に自分が学びたい言語を学ぶこともできます。ここで私は多くの人々と出会い、人脈を広げる機会を得ました。異なるバックグラウンドを持つ人々との交流を通して、それぞれの文化や価値観に触れることができ、世界の国々に対する理解が以前よりも深まったと感じています。Sussex大学は勉強と遊びのどちらも楽しみたいという人におすすめだと思います。イギリスに位置しているため、長期休みには国内はもちろん、ヨーロッパ各国にも簡単に旅行に行くことができます。このSAで私は、新しいことに挑戦することの大切さを学ぶことができました。未知なことに挑戦することは初めは勇気がいることだと思います。しかし、少し勇気を出して一歩踏み出せば今まで知ることの無かった新しい経験や発見を得ることができます。私はこのSA生活で沢山の経験や多くのかげがえのない友人と出会うことができ、充実した一年を送ることができました。



キャンパス

Brightonのような賑やかな街から近く、しかもSouth Downs National Parkに囲まれ自然環境にも恵まれたイギリス内でも屈指のロケーションと言われています。指定建築物である校舎はSir Basil Spenceのデザインで、メインライブラリーはキャンパスに入っすぐのところに位置し、30万冊の蔵書を誇っています。Language Institute内には言語関連の図書室があり、様々なビデオやDVDの貸し出し可能、視聴用の部屋が隣接してあります。食材も買えるUnion Storeがキャンパス内にあり、便利です。Falmer駅舎を出ると通りを隔てて目の前にFalmerキャンパスが広がり、アクセスも良好です。



Brightonについて

ヴィクトリア時代に首都ロンドンからの日帰り可能な保養地として栄え、現在も海岸線には高級ホテルが立ち並んでいます。2000年頃から若い世代への人気が高まり、物価も上昇しましたが、その背景には英国で最も人気のビーチがあり、リラックスできるスポット、またスポーツや飲食を楽しむ場として発展していること、5月には英国最大級のアート・フェスティバルが開催され、若者の文化が活発であることが挙げられます。街中ではカフェを中心にWiFiが利用でき、場所によってはビーチでもインターネットの使用が可能です。何力所があるショッピングエリアのアンティーク街も有名です。1960年代のサブカルチャーを描いた「さらば青春の光」の舞台です。ロンドンへはBrighton駅から50分程度です。



The University of Newcastle



URL <https://www.newcastle.edu.au/>
 (course catalog) <https://www.newcastle.edu.au/course>



所在地	University Drive, Callaghan, NSW 2308, Australia
創立年	1965年
運営	公立 (州立)
参考学費	ELI+Academic (9,900+8,950) : AUS\$18,850
滞在方法	前半 : ホームステイ 後半 : ホームステイまたはオンキャンパス寮

基本情報

1965年創立の比較的新しい大学ですが、リサーチ面では国内トップ10に評価されています。広大な土地を有する郊外型大学では、国内最大の規模を誇っており、約36,000人（内留学生約7,000人）の学生が学んでいます。ニューカッスル市内には2つのキャンパスがあり、主な授業はメインのキャラハン・キャンパスで開講されています。特に、オーストラリアの先住民アボリジニに関する講義が留学生に人気です。シティ・キャンパスでは、ビジネス分野を中心とした授業が行われています。キャンパス間には、移動のためのシャトルバスが頻繁に運行しています。



レベル別の履修形態

- ケース1 (ELICOS (語学学校) 終了時に Academic履修条件を満たしていない学生)
2月初旬~7月上旬: ELICOS
7月下旬~11月下旬: ELICOS
- ケース2 (ELICOS (語学学校) 終了時に Academic履修条件を満たしている学生)
2月初旬~7月上旬: ELICOS
7月中旬~11月下旬: Academic
- ケース3 (前年出願時 (10月) にAcademic履修条件を満たしている学生)
2月初旬~7月上旬: Academic
7月中旬~11月下旬: Academic

*Academic履修条件: 日本の大学で1年間履修済み、GPA 2.5以上
 TOEFL iBT®テスト 64-78 (R:13-18, L:12-19, S:18-19, W21-23) /
 IELTS 6.0 (全てのバンドが6.0以上)
 ELICOS (語学学校) Higher Level Pass in EAP exam

*ELICOS (語学学校) ではAdvanced English for Academic Purposesコースを履修予定。

現地スタッフからのメッセージ

Dear Doshisha University students,
 Welcome to the University of Newcastle!
 I would like to welcome you all and thank you for studying English with the University of Newcastle's Pathways and Academic Learning Support Centre.
 I hope during your time with us you will improve your English language and academic skills, learn more about Australian culture, engage in our award winning Student Experience Program, and make new friends from amongst your classmates who come from around the world to study English with us and improve their global communication skills.

Anna Bennett
 Director, Pathways and Academic Learning Support
 The University of Newcastle



空港からのアクセス

SydneyからNewcastleまでは鉄道、飛行機、バスのオプションがありますが、本数が限られているため、Newcastle大学あるいは、ホームステイ会社手配のピックアップサービスを利用する予定です。Sydney空港から到着後、送迎車でNewcastle (大学・ステイ先) へ向かいます。所用時間は約3時間です。



世界の人々と自分を繋げてくれたオーストラリアでのSA

柳田 優月さん



さまざまな人と関わって自分の世界を広げよう

オーストラリアのニューカッスルはとても自然に恵まれています。綺麗なビーチにすぐに行けるところが最高でした。気候も穏やかで冬も寒すぎないところが良かったです。シドニーまでは3時間ほどで移動可能です。オーストラリアの良い点は多文化主義です。差別を受けることはほとんどなく、さまざまな人と関わることができました。語学学校では、中国、サウジアラビア、カンボジア、モンゴルなどの出身の学生がいたのが新鮮で、日本とは違う文化を知るのが面白かったです。先生はユーモアがあり、オーストラリアのことを詳しく教えてくださいました。語学学校で仲良くなった中国人の友達とは語学学校を終了した後も、一緒に出掛けたり、旅行に行ったりしました。アカデミックに進むと、オーストラリア人と関わることが多くなったことが嬉しく、自分の世界の広がりを感じました。

私は1年間ホームステイ生活をしていましたが、ホストマザーと過ごした1年間の思い出は宝物です。毎日おいしいご飯を用意してくれて、とても親切にしてくださいました。動物園に連れて行っていただいたこともあり、一緒にビーチに泳ぎに行ったこともあります。私がホームシックで辛かった時は、親身になって話を聞いてくれて、日

本のカレーを作ってくれました。私が友達の家でカラオケをして楽しかったと伝えるとマイクを買ってくれたり、誕生日を祝ってくれたり、マザーの友達に招待されて少し早めのクリスマスパーティーに行ったり、ビーチでサンタと写真を撮ったりしました。ホストマザーと友達のように仲良くなれたことが本当に嬉しかったです。

また、日本のことに興味がある人たちが集まるサークルに行くことで交流の輪が広がりました。サークルの人たちは日本について詳しく知っていて仲良くなりやすかったです。

皆さんは英語力が上がるのかどうか不安かもしれませんが、自分を信じて諦めなければ絶対にスピーキング力を伸ばし、話せるようになります。ニューカッスルで、さまざまな価値観を取り入れ、さまざまな文化を学べるすばらしさを是非体験してください。



キャンパス

メインのキャラハン・キャンパスは豊かな自然に囲まれており、広大なキャンパスの中心部にはELICOS (語学学校)、International office、図書館、文系学部、学生会館等のSA関連施設、さらに医療センター、銀行、郵便局等の施設が集まっています。シティ・キャンパスは、デザイン性の高い建物を特徴としたモダンな雰囲気のキャンパスです。スポーツの盛んなニューカッスルでは、キャンパス内にオリンピック仕様のプールをはじめとする各種のスポーツ施設が設けられ、市内にも、美しいビーチのほか様々な施設が見られます。英語学校期間中はホームステイ滞在のほか、Academic進学後はキャラハン・キャンパスの学生寮への滞在选择も可能です。



Newcastleについて

オーストラリア大陸の南東部海岸、ハンター川河口に位置する港湾都市です。New South Wales州に属し、シドニーの北約160kmに位置します (シドニーへは日帰り旅行可能)。主要産業は石炭の積出、造船などです。ハンターバレーはワインの産地として世界的に有名です。夏はかなり暑くなります (35~40℃) が、冬は温暖な気候です。様々なスポーツを楽しむことができますが、美しいサーフビーチが多く、世界的なサーフィン大会も行われています。近年では、トラムが運行開始するなど、ますます便利でモダンな街並みに進化しています。



Deakin University



URL <https://www.deakin.edu.au/course-catalog> <https://www.deakin.edu.au/study/find-a-course>



所在地	221 Burwood Highway, Burwood, Victoria 3125, Australia
創立年	1974年
運営	公立(州立)
参考学費	DUELI+Academic(9,900+9,120) : AUS\$19,020
滞在方法	前半:ホームステイ、後半:ホームステイまたは寮

基本情報

1974年創立の新しい大学です。約61,000人(内留学生約14,000人)の学生が4つのキャンパス(本校のプログラムはメルボルン郊外のパーウッド・キャンパスで実施)で学んでいます。多方面で活躍できるよう中国語やメディア・コミュニケーションの授業のほか、オーストラリア学などのユニークな専攻が留学生に人気です。スポーツサイエンス分野に強いディーキン大学は、2016年と2017年の世界大学学術ランキングで2年連続1位の快挙を達成しています。附属英語学校(DUELI)はオーストラリアを代表する語学学校の1つであり、学生満足度において非常に高い評価を得ています。Academic(正規科目履修)に進学する学生向けに、英語学校内の有給インターンシッププログラムも提供しています。



レベル別の履修形態

●ケース1 (DUELI (語学学校) 終了時に Academic履修条件を満たしていない学生)

2月初旬~7月中旬: DUELI
7月下旬~12月中旬: DUELI

●ケース2 (DUELI (語学学校) 終了時に Academic履修条件を満たしている学生)

2月初旬~7月上旬: DUELI
7月中旬~10月下旬: Academic
11月初旬~12月中旬: DUELI

●ケース3 (前年出願時(10月)にAcademic履修条件を満たしている学生)

2月下旬~7月上旬: Academic
7月中旬~10月下旬: Academic
11月初旬~12月中旬: DUELI

*Academic履修条件: 日本の大学で1年間履修済み、GPA2.6以上
TOEFL iBT®テスト 69 (Writing 21)/IELTS 6.0 (全てのバンドが6.0以上)
DUELI (語学学校) 60/100 Pass in EAP 3 exam

*DUELI (語学学校) ではEnglish for Academic Purposes 3 コースを履修予定。

* (Academic履修後の) 11月初旬~12月中旬のDUELI (語学学校) では、上級英語のブラッシュアップを実施する予定。

現地スタッフからのメッセージ

I would like to extend my warmest welcome to all the students at Doshisha University who are planning to study at Deakin University and Deakin University English Language Institute. The Deakin University English Language Institute (DUELI) is the perfect place to learn English. Recognised as one of the best English language centres in Australia, DUELI will help with more than just your English: it will give you the chance to improve your study skills and become familiar with studying at an Australian university. You will also have the opportunity to meet new people and make life long friendships with people from all over the world.

Whether you want to improve your English for personal or professional purposes - or as a pathway into a Deakin University degree - DUELI is here to help you reach your dream.

I look forward to meeting you and welcoming you to campus!

Angela Moran, General Manager, Deakin University English Language Institute.



空港からのアクセス

Deakin大学手配のピックアップサービスを利用します。Melbourne空港から手配された送迎車で市内(大学、滞在先)へ向かいます。送迎車の移動時間は約1時間半です。



緑、カフェ、アートに囲まれて

近藤 菜々子さん



わたしってこうだったんだ!を見つける時間

緑に囲まれ、多くのカフェが立ち並ぶメルボルン。別名ガーデンシティとも呼ばれるこの都市から路面電車で一時間ほどの郊外に、Deakin大学は位置しています。

アートからスポーツサイエンスまで、Deakin大学では幅広い分野の学習が提供されています。授業のスタイルはプレゼン中心であったり、ディスカッションベースで進むものもあったりと非常に様々。私たちの多くが履修したArts & Education学部の授業には、創造性を求められるものが多く、それまで経験したことのないような課題に取り組むため、パソコンと睨めっこをする日々を過ごしました。

私が履修した児童文学のユニットでは、頻りにディスカッションが行われました。初めは発言する勇気もあまりなく、せめて周りの学生に追いつこうとメモを取るのに必死になる日々。しかし、周りの学生が失敗を恐れず発言する様子に勇気づけられ少しずつ発言を繰り返すうちに、異なる背景を持つ学生と意見交換をすることに楽しみを見出すようになりました。また、広告デザインに関する授業では、専門用語に翻弄されたり論文を読むのに苦労したりと異国で学ぶ難しさをひしひしと感じる一方、たくさんの新しい知識に出会うことができ、「将来自分の仕事にしたいこと」として、デザイン学をより強く意識するき

っかけになりました。

留学は自分を知る良い機会です。日本を離れ、親元を離れ、今まで当たり前だと思っていた価値観から離れたとき、自分の行動の指針になるのは自分自身です。自分は何が好きで、何が嫌いなのか。自分にとって「これだけは譲れない!」というものは何なのか。「わたしってこういう人間なのだ」を見つける機会となります。英語の語学力の成長もちろんとても大切ですが、これからSAに行かれるみなさんにはぜひ自分のことにもじっくり目を向けてみてもらえたらと思います。



キャンパス

パーウッド・キャンパスは活気ある都会型キャンパスで、約32,000人以上の学部生、院生が学んでいます。メルボルン郊外東部にあり、メルボルンの中心地からはトラムで約45分です。近代的なキャンパス内にはIcon Art Gallery、図書館、カフェ、レストラン、バー、キャンパス・ショップ、書店、各種スポーツ施設等が揃っています。ホームステイのほか、オンキャンパスの学生寮への滞りも可能です。



Melbourneについて

オーストラリア第二の都市で、Victoria州の州都です。伝統的なヨーロッパ風建築とスタイリッシュな新しい建物が立ち並び、様々な民族コミュニティ、世界各国のレストラン等が混在する多文化都市です。天候は温暖で四季がはっきりして過ごしやすい、都会と自然の調和がとれたこの街は、7年連続で「世界で最も住みやすい都市」(エコノミスト誌(2011~2017))にも選ばれています。



Victoria University of Wellington



基本情報

Victoria University of Wellington (VUW) は1897年に設立されました。New Zealandの首都Wellingtonの中心部に位置します。行政を担う官庁街や港公園に隣接した美しい大学です。New Zealandでも最も古い国立大学のひとつであり、約22,000人の学生が勉強しています。そのうちの約2,000人が留学生で、国際色豊かな総合大学です。人文・社会科学部、経営学・行政学部、教育学部、法学部、建築デザイン学部、工学部、理学部、保健医療学部の8つの学部があります。



URL <https://www.wgtn.ac.nz/>

(course catalog : <http://www.wgtn.ac.nz/study/programmes-courses/courses>)



所在地	Wellington, 6140, New Zealand
創立年	1897年
運営	公立
参考学費	EPP+Trimester2+Trimester3(6,089+12,105+8,900) : NZ\$27,094
滞在方法	ホームステイまたは寮

レベル別の履修形態

- ケース1 (TOEFL-ITP®テスト475+/IELTS 4.5+/TOEFL iBT® 34+/Duolingo 70+)
 - 2月中旬～5月上旬: EAP Programme
 - 6月中旬～9月上旬: EAP Programme
 - 11月中旬～2月下旬: Academic (EAP 3, 4, 4, 4)
 - ケース2 (TOEFL-ITP®テスト475+/IELTS 4.5+/TOEFL iBT® 34+/Duolingo 70+)
 - 2月上旬～6月上旬: EAP Programme
 - 7月上旬～11月上旬: Academic (EAP 3, 4, 4, 4)
 - 11月中旬～2月中旬: Academic
 - ケース3 (下記のAcademic履修条件を満たしている学生)
 - 2月下旬～6月下旬: Academic
 - 7月上旬～11月上旬: Academic
 - 11月中旬～2月中旬: Academic
- Academic履修条件: GPA2.7以上およびIELTS 6.0+ (全てのバンドが5.5以上) / TOEFL iBT® 80+ / Duolingo 110+ / PTE Academic 50+ (communicative score 42以上)

空港からのアクセス

最寄りの空港はWellington空港です。日本からはAuckland 経由で約10時間程度、そして、Auckland からWellingtonへは約1時間かかります。空港から大学まではタクシーで約20分かかります。シャトルバスでは約30分～40分かかります (NZ\$18程度)。電車はありません。



現地スタッフからのメッセージ

Wellington is a great place to be a student. New Zealand's capital city is known for its energy and creativity, and for the opportunities it provides to connect with the entrepreneurs and leaders who live here. As an international student at Te Herenga Waka—Victoria University of Wellington, you will be part of a welcoming and supportive community made up of students from more than 100 countries. You will have access to a wide range of support services tailored to international students, and you will be able to take part in the clubs, societies, and volunteering opportunities that interest you. Students at Victoria University of Wellington have easy access to everything the city has to offer. We have strong links to government, business, and environmental and cultural institutions, and our students have the opportunity to be part of the innovation and entrepreneurship ecosystem that this city is known for. Wellington is a safe, compact city with some of the friendliest people in the world. It's also the gateway to some of New Zealand's most stunning scenery. If you're looking for a study experience to remember, Wellington is the place to be.

Professor Nic Smith, Vice-Chancellor



ニュージーランドでの生活

富安 健斗さん



やれることをやれる時に全力でやり切る

私たちのSA先であるウェリントンにはニュージーランドの中でも有数の都市であり、昼夜問わず多くの人で賑わっています。ウェリントンの魅力の一つとして、政府機関や大学の他に、商業施設なども集中していることが挙げられます。Victoria University of Wellington (VUW) の近くに位置するキューバストリートには古着屋や本屋、レストラン、カフェなど他にも様々なお店があります。私はよく友達と一緒に古着屋巡りを行っていましたが、値段も日本とさほど変わらず質の良い物も揃っているので興味のある方はぜひ足を運んでみて下さい。さらに、駅の近くに巨大なスタジアムがあったり、港の近くには美術館があったりと、多くの施設を大学から徒歩で回ることができます。様々な娯楽や文化を遠慮をせずに楽しむことができるコンパクトさが、ウェリントンの強みです。

また、ウェリントンはコーヒー文化の盛んな都市でもあり、非常に多くのカフェが店を構えています。カフェは非常に人気が高く平日の朝から大勢の人で賑わっており、行列が出来ることも珍

しくありません。日本と比べほとんどの物の価格が二倍以上するニュージーランドですが、コーヒーは安価で飲むことができます。日本ではあまりコーヒーを飲まなかった私も今では休日にカフェ巡りをしています。

VUWでは2月から5月までの期間、語学学校の授業を受けます。GCの学生は事前に日本で受けたTOEFLの成績によってクラス分けがされます。語学学校では4技能のスコアで合格点以上の成績を修めることができれば、次学期から正規の大学の授業を受けることができます。正規の授業では芸術系からビジネス系、法律系など非常に幅広い学問を学ぶことが可能です。

そして、課外活動としてVUWにはスポーツ系から文化系まで様々なクラブがあります。私はサッカー部や囲碁部など様々な活動に参加していました。その中でも日本協会 (JSOC) では日本に興味のある様々な国の人たちと交流し、友人関係を築くことが出来ました。

様々な文化的背景を持つ人たちや豊かな自然に囲まれながらSA生活を送りたい人に、私は自信を持ってVUWをお勧めします。

キャンパス

キャンパスはKelburn, Pipitea, Te Aroと3つありますが、大学英語準備プログラムEAP (English for Academic Purposes) も人文系、社会系の大学科目のクラスもほとんどがKelburnキャンパスで開講されています。Kelburnキャンパスは港町Wellingtonが眺められる丘の上に位置しています。このキャンパスに図書館、学生食堂、ジムなどの学生生活に必要な設備はほとんど整っています。Wellingtonの町の中心部である官庁街、デパートやレストランのある繁華街、市民や観光客が集う港公園もすぐ近くにありま



Wellingtonについて

New Zealandは北島と南島から成っていますが、Wellingtonは北島の一番南に位置しています。美しい海と丘の街で、特に丘の上から望む街の景色は印象的です。芸術、文化の面からもWellingtonは中心的な存在で様々なイベントが開催されています。また、大学から近いニュージーランド国立博物館・パピアはNew Zealandの歴史や自然、そして、先住民マオリの文化について学ぶには理想的な環境になっています。姉妹都市のひとつに大阪の堺市があります。



SAを迎える前に

生活編

SA先の国で安全・快適に過ごすためには、事前の情報収集は欠かせません。以下に挙げた情報はあくまで一般的なものです。特にオリエンテーションや住居については、SA先大学からのインフォメーションにきちんと目を通し、必要であれば各自インターネットを使って調べるなど、自ら情報を収集する癖をつけておきましょう。

■ オリエンテーション

SA先の大学の多くは、新たに入学した留学生にキャンパスや学内施設を紹介するなどの、オリエンテーションを開催しています。オリエンテーションは1日程度のものから、長い場合だと1週間以上に渡ることもあります。参加が義務付けられている場合もあれば自由参加の場合もありますが、できる限り出席することをおすすめします。

オリエンテーションで扱われるテーマは、図書館や医療センターなどの学内施設の見学や、各種支援サービスなどの学内リソースの紹介、科目履修登録の方法、その国の文化・生活についての説明、ビザや法規制に関する説明など多岐に渡ります。どれも、その国でSA生活を送るために大切な情報です。また、オリエンテーションの場で他の留学生と出会ったり、留学生アドバイザーと知り合うこともできます。

■ 住居

SA先での住居は主に次の2つに分けられ、大学側が指定する住居に滞在します。ただし、SA先地域や大学、年度によって居住形態は異なります。

〈大学寮〉

大学内にある学生寮に滞在する形態です。ルームメイトがいる2人部屋の寮もあれば、個室がいくつかあり、共同で利用するリビングやキッチン、バスルームなどに隣接しているアパートタイプの寮もあります。ほとんどの場合、ベッド、勉強机、クローゼットなどは備え付けられていますが、シーツや毛布などは各自で用意します。生活用品は学生同士で譲り合ったり、近隣のディスカウントストアなどで揃えることが多いようです。

食事は多くの場合、大学の食堂やカフェテリアを利用します。食堂やカフェテリアのMeal-Plan（食費）を寮費と一緒に納める場合もあります。キッチンがついている寮であれば自炊もできます。その他、寮内にはラウンジやシャワールーム、コインランドリーなども完備されています。

〈ホームステイ〉

SA先大学やその提携機関が斡旋する、現地の一般家庭に滞在する形態です。語学留学プログラムなど、比較的短期の滞在期間の場合にホームステイが選択されることが多くあります。家具付きの1人部屋が与えられ、家族の一員としてSA期間を過ごします。ホストファミリーの家族構成は、両親と子供、老夫婦、シングルペアレントと子供などさまざまです。また、人種や宗教なども家族ごとに違います。身をもってSA先の生活様式や文化を学ぶことができると同時に、SA先に「家族」ができる貴重な経験でもあります。

■ 食事

食事のパターンは、大きくわけて以下の3つがあります。いずれの場合でも、偏食を避けて栄養のバランスを考えた食事をとるように心がけましょう。

● Meal-Plan

通常ビュッフェ形式で、通常1週間あたりの食事の回数が決まっています。週15回、19回、21回など自分のライフスタイルに合わせて選べる人が多いようです。

● ホームステイでの食事

一般的に平日は朝・夕食付き、週末や休日は朝・昼・夕食付きとなっています。平日の昼食は、各自でSA先大学のカフェテリアや大学近くのレストランなどで食べることになります。その他、平日・休日を問わず1日3食付きの場合もあり、その場合は平日の昼食は自分でお弁当を準備して持参することになります。

● 自炊

寮の部屋に備え付けられているキッチンや共同キッチンで自炊できる宿舎もあります。できるだけバランスを考えた食事をとるようにしましょう。

■ 課外活動

SA期間中に最も重視すべきことは、授業への出席を始めとする勉強面であることは言うまでもありませんが、放課後や休日などの余暇は各自で自由に時間を使うことができることです。SA先大学の学生や地域の人々との交流は自分次第でいくらでも可能ですので、興味のある活動には積極的に参加して充実したSA生活を送ってください。

SA期間中は、SA先大学にあるクラブ活動に参加したり、ボランティアやインターンシップに参加することもできます。積極的に情報収集をして、興味のある分野の活動を探してみましょう。こういった活動に参加することで、交友関係が広がったり、視野が広がって将来の道が見えてくることもあります。興味があれば、SA先大学の担当者や各団体に問い合わせてください。

その他、SA先大学の国際センターなどが主催している留学生のための交流プログラムもあります。語学パートナーの制度やInternational Festivalなど、大学によってさまざまなプログラムが準備されていますので、有効に活用しましょう。

■ カルチャーショック

「カルチャーショック」とは、外国など異なる文化の環境下で生活するときに、自分の生まれ育った国や文化で培ってきた言葉や習慣、行動様式などが通用しないことで起こるショック状態のことです。これは、異文化適応のための自然な過程ですが、自分自身の根幹である考え方、生き方、存在そのものを揺るがす場合もあり、その影響が疲労感、焦り、不安、神経質、憂鬱、睡眠不足、摂食障害、対人恐怖症などとなって現れることもあります。

大切なのは、カルチャーショックについてあらかじめ知っておき、実際にカルチャーショックを感じたときに、身近なアドバイザーやカウンセラー、友人に気軽に相談することです。カルチャーショックを感じた出来事を肯定的に受け止め、それを自分なりに克服すれば、自文化と他文化の長所と短所を冷静に比較できる目をもつことができるようになり、状況に応じて臨機応変に行動できる能力が培われることでしょう。

■ 逆カルチャーショック

カルチャーショックとは反対に、SA後に日本の社会に復帰するにあたって直面する適応上の問題や心理的葛藤を「逆カルチャーショック」といいます。SA先の国で培った価値観や行動様式を、そのまま日本に持ち帰ったもののそれが通用せず、「以前とかわった」などと批判されてショックが起きるのです。

逆カルチャーショックへの対処法で大切なことは、自分自身を肯定的にとらえることです。一度カルチャーショックを乗り越えて異文化に適応できたからこそ逆カルチャーショックが起こっているのですから、自分は2つの文化に適応できた、日本とSA先の国の両方の良い面、悪い面について考えることができるようになったという積極的な考え方をするように心がけましょう。

カルチャーショックを克服したように、逆カルチャーショックも月日が解決してくれます。あまり焦らず、自分の置かれた環境をよく観察して、どのようにしたら「SA体験」をこれからの進路に生かせるかを考えましょう。

危機管理・健康管理編

SA先でもつい日本と同じ感覚で行動してしまったり、逆に、SA先での開放感のために日本ではしないようなことまでしてしまうことがあるかもしれません。健康かつ安全なSA生活を送るために、一人ひとりが自分の行動に責任を持ち、安全に配慮することが大切です。

■ 通信手段の確保

SA期間中、日本の家族や友人、大学関係者と連絡をとることができるように通信手段をきちんと確保しておきましょう。特にご家族とは、SA前にしっかり連絡手段・頻度について相談しておいてください。日本に残された人たちは、想像以上に異国の地にいる皆さんの身を案じています。現地に着いたら「無事に到着しました」、折にふれて「元気にすごしています」、旅行に出かける際には「いつからいつまでどこへ出かけます」といった連絡があるだけで、安心してみなさんの帰りを待つことができます。また、SA先の国・地域で地震や台風などの大きな災害や事件・事故（ハイジャック、テロなど）が発生したら、いち早く無事であることを知らせてください。

■ セクシャルハラスメント

日本を離れて留学するということは、言葉も文化も異なる国で生活をするということです。時に、文化の相違から意思の疎通が上手くいかず、予想もしないような誤解を招くことがあります。このような誤解が、レイプやセクシャルハラスメントを引き起こすこともあるのです。これらのトラブルから自分自身を守るためには、文化の違いを理解することが大切です。また、これらは日本人だけの問題や女性だけの問題ではなく、誰もが被害者にも加害者にもなり得るのだということをきちんと認識しておきましょう。

他人からの誘いに対して、必要に応じ、はっきり「No」と伝えましょう。あいまいな態度は禁物です。よく知らない人と閉ざされた空間で2人きりになることも避けた方がよいでしょう。万が一トラブルが発生し、当事者同士の話し合いで解決が困難な場合は、大学の留学生アドバイザーやカウンセラーなど、信頼のおける人に相談してください。

■ 麻薬・覚醒剤

近年、世界中で麻薬・覚醒剤の汚染が広がっています。SA先の国の中には、日本よりも薬物が身近に感じられる環境の国があることも事実です。特にマリファナは、タバコよりも害が少なく常習性が低いと考えられている国もあり、日本より比較的手に入りやすいことから、旅行中に手を出す人もいます。

しかし、マリファナを含む麻薬・覚醒剤は、手を出すと、身体的・精神的に薬物に依存してしまい、自発的に使用をやめることが困難になります。気軽な好奇心から薬物に手を染めないよう、海外生活の安全を第一に考え、十分に気をつけて生活してください。麻薬・覚醒剤の所持・使用は世界の多くの国で厳しく禁じられています。国によって違いがありますが、どの国でも薬物犯罪に対してはたいへん厳しい罰則を設けています。

〈薬物犯罪に対する世界各国の最高刑〉
アメリカ・カナダ・オーストラリア・ニュージーランド…終身刑
イギリス…無期懲役 中国・台湾…死刑

■ 自動車の運転

同志社大学では、本学の留学プログラムによる留学中に自動車を運転することを禁じています。慣れない海外での車の運転は大変危険です。「外国人であること」「現地の言葉を十分に話せないこと」「学生であること」は万が一の時の責任を回避する言い訳としては通用しません。海外では道路標識や法律が日本と異なる上に、交通事故を起こしてしまった場合には、多額の賠償金を請求されることがあります。

危機管理については、出発前に詳しい説明会を開催します。

■ 安全の確保とトラブル回避

①自分の居所・所在を明らかに！

SA期間中の居所・所在は、確定や変更（休暇等で短期にどこかへ出かける時を含む）の際、家族、友人（国内外）及び大学の指定する連絡先に必ず知らせてください。

また、旅券法第16条により、外国に住所または居所を定めて3ヶ月以上滞在する日本人は、その地域を管轄する日本大使館または総領事館に速やかに在留届を提出することが義務付けられています。災害や事件・事故に巻き込まれた際には、日本大使館や総領事館は在留届をもとに皆さんの所在や緊急連絡先を確認して援護にあたります。郵送やオンラインでの在留届電子届出システムにより提出することができます。

詳細は以下のウェブサイトを確認してください。

外務省渡航関連情報（届出・証明 在留届について）
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html>

外務省ORRnet（在留届電子届出システム）
<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/ORRnet/>

②現地での行動のポイント

危険は自分でできる限り避けるよう行動しましょう。「自分の身は自分で守る」という基本姿勢を徹底してください。海外は、日本とは常識（特に安全面）が異なることをよく理解しておきましょう。大学以外の環境では特に、絶えず緊張感をもって行動し、安全に関する情報収集に努めてください。また、日没後は一人で出歩かない、大金を持ち歩かない、軽率な行動はとらないなどの注意も必要です。自分自身を客観的に見る目を持ち、犯罪者にとって狙われやすい格好や隙のある行動をしていないかを常にチェックするようにしてください。

大学の中には、深夜にキャンパス内を移動しなければならない際に利用できるエスコートサービスを提供している大学もあります。依頼をすれば寮まで送り届けてくれますので、SA先大学にこのようなサービスがある場合には積極的に利用してください。

③海外でトラブルにあったら

突発事故や災害が発生した時には、日本大使館・総領事館に連絡をとって指示を仰いでください。窃盗、強盗、詐欺などのトラブルにあった場合は、まず警察に被害届を出し、警察からポリスレポート（被害届）の受理書を受け取ってください。これは、その後のパスポート再発行や保険請求に必要となります。

いずれの場合も「危機管理サービス」の指定連絡先へ連絡すれば手続き等について適切なアドバイスやサポートを受けることができます。

④テロや暴動などの非常事態に関して

現地で戦争・内乱・暴動・テロ行為が発生した際は、まずは外務省の海外安全ホームページ等で正確な危険情報を収集してください。政治的、社会的な状況の悪化や、テロリズム・クーデター等の勃発に伴い、国中が深刻な社会不安に見舞われた際に当事国が非常事態宣言等を発令することがあります。このような場合は、まずは自分自身の安全確保を最優先してください。

■ 健康管理

日本での生活と海外での生活は当然異なります。今までは家族と一緒に生活していて、一人暮らしの経験がない人もいでしょう。健康にSA生活を送るために、予備知識を持ち、日ごろから注意して生活することが大切です。

〈出発前に準備しておくべきこと〉

- SA先へは、必ず常備薬を持参しましょう。
- 持病がある人は、自分で対処法を十分に理解し、病気の内容やこれまでの経過を説明できるようにしておきましょう。かかりつけのお医者さんに英語で診断書を書いてもらっておくと安心です。
- めがねやコンタクトレンズを使用している場合は、スペアを持参しましょう。
- 歯の治療は、国によっては良い治療を受けられなかったり治療費が高額だったりする場合があります。海外旅行保険などでは原則として歯の治療はカバーしていないので、出発前に必要な治療をしておきましょう。

〈留学中に注意すべきこと〉

- 現地での生活に慣れるまでは、できるだけ睡眠をしっかりとして十分に休養するようにしましょう。
- 規則正しい生活を送りましょう。SA生活を送る中では夜遅くまで勉強することも多いかもしれませんが、毎日規則正しい生活を送る方が勉強の効率もあがります。メリハリのある生活を心がけましょう。
- 身体の調子がおかしいと感じたら、できるだけ早く病院を受診し、治療を受けましょう。大学には診療所や病院がある場合が多いので、早い時期に一度訪れてみてよいかもかもしれません。
- SA先で何かあった時に頼れる相談相手を見つけておきましょう。困った時や悩んだ時は、一人で悩まず友人や知人、SA先大学のスタッフやアドバイザー、カウンセラーに相談しましょう。

〈万が一怪我をしたら／病気になったら〉

- まずは大学の診療所や近隣の病院を受診しましょう。
- どの病院を受診すればよいかわからない場合や、緊急事態が発生した時には、身近な人に助けを求めるとともに、後述の「危機管理サービス」の指定連絡先に電話をし、適切な対応方法をアドバイスしてもらいましょう。
- 病院を受診した際は、必ず「診断書」と「領収書」をもらっておくようにしましょう。後日、海外旅行保険を使って保険金の請求をする際に使用します。また、病院で出された処方箋で薬を購入した場合にはその費用も請求が可能なので、領収書を保存しておくことをおすすめします。

〈感染症が発生した場合〉

新型コロナウイルスなどのような感染症の予防にはマスク着用や手洗いなど、日頃からの危機管理意識が欠かせません。万一感染症を発症した場合や周りに感染者が出た場合には、速やかに現地大学が指定する連絡先に報告するとともに、定められたガイドラインに従って対処するようにして下さい。また、感染症の拡大防止のため、現地政府による外出規制などの特別措置が取られた場合や日本国及び諸外国政府による出入国時の検査や隔離等の措置が定められた場合には、それらを遵守するようにして下さい。

■ 危機管理サービス

SAに行く学生は、本学部が契約している留学生危機管理サービスに自動的に加入することになります。危機管理サービスには、現地での生活サポート、滞在中のトラブル対処、滞在中の緊急対応などが含まれます。

■ 派遣前・派遣中のプログラム中止・延期や帰国勧告について

外務省の海外安全ホームページでは、海外各国の最新の海外危険情報と海外感染症危険情報を以下のように4段階に大別してきめ細かな危険情報を提供しています。本学部では、出発前や留学中に以下の勧告の発出や感染症拡大などの非常事態が発生した場合、出発前の渡航延期、留学中の帰国勧告、その他緊急対応措置を検討する場合があります。留学期間中の連絡はDUETもしくは大学のメールアドレスに送られますので、留学中はこまめにチェックするようにして下さい。

【レベル1：十分注意してください】

【レベル2：不要不急の渡航は止めてください】

【レベル3：渡航は止めてください(渡航中止勧告)】

【レベル4：退避してください。渡航は止めてください(退避勧告)】

・外務省国・地域別海外安全情報
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/>

・外務省 海外安全ホームページ
<https://www.anzen.mofa.go.jp/>



パスポートについて

パスポート(旅券)とは、政府ないしそれに相当する公的機関が交付し、国外に渡航する者に国籍およびその他身分に関する事項に証明を与え、外国官憲に保護を依頼する公文書です。つまり、パスポートは国外においては自分の身分を証明する公的で最も通用度の高い身分証明書であり、海外へ渡航する際には必ず取得しなければならないものです。日本の旅券の有効期間は発効日から5年または10年の2種類があり、18歳以上の人はいずれかの旅券を申請できます。申請、交付事務は各都道府県のパスポートセンター(旅券事務所)で取り扱われています。

すべての都道府県においてオンライン申請による新規申請及び切替申請(残存有効期間が1年未満の更新)が可能です。

オンライン申請は、国内ではマイナンバーカードを使ってマイナポータルから行います(国外からはオンライン在留届(ORRネット)経由で申請します)。なお、これまでどおり、窓口で紙の申請書により申請することも可能です。

パスポート申請に必要な書類、手数料や手続方法等の詳細は、申請を予定している都道府県のパスポートセンター(旅券事務所)ホームページで確認してください。

なお、パスポートの発給までには、2週間程度の時間を要することがありますので、申請の際は余裕をもって申請を行ってください。

SAに関する内規

外国の大学に留学する学生の取扱いに関する内規

1983年3月17日
制定

改正 1983年11月10日 1994年5月12日
1998年2月19日 1999年2月18日
2005年3月17日 2006年6月1日
2008年3月13日 2010年1月28日
2010年12月2日 2015年3月12日

(設置)

第1条 本学の学部又は大学院の学生が、本学の教育課程の一環として学則第27条の2、大学院学則第20条の2、専門職大学院学則第29条又は法科大学院学則第15条により留学する場合は、この内規の定めるところによる。

(教育機関の定義)

第2条 この内規にいう外国の大学とは、外国における正規の高等教育機関で学位授与権を有するもの、又はこれに相当する教育機関をいう。

2 外国の大学の調査認定は、学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会が行う。

(留学の定義)

第3条 この内規にいう留学とは、本学の許可を受けて外国の大学に在学中、科目を履修し、又は研究指導を受けることをいう。

(条件)

第4条 この内規の適用を受けて留学する学生は、次の要件を満たさなければならない。ただし、大学院学生には適用しない。

- (1) 本学に1年以上在学していること。
- (2) 30単位以上修得していること。

2 前項第2号は、当該学部教授会の認める特別の事情がある場合には、適用しない。

(学籍)

第5条 この内規の適用を受けて留学する学生の本学学籍上の取扱いは、在学留学とし、休学としない。ただし、学生が休学を認められ、外国の大学で学修する場合は、この内規は適用しない。

(期間)

第6条 在学中に留学できる期間は、1年以内とする。在学留学期間の算定は、留学先大学の別にかかわらず、当該教育課程における在学留学期間の通算にて行う。

◎外務省ホームページ(パスポート(旅券))

https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/

◎近隣のパスポートセンター(旅券事務所)ホームページ

京都府… https://www.pref.kyoto.jp/passport/index.html

大阪府… https://www.pref.osaka.lg.jp/o070140/passport/top/index.html

兵庫県… https://www.hyogo-passport.jp/

奈良県… https://www.pref.nara.jp/18114.htm

滋賀県… https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/gaiyou/soshiki/300696.html

2 当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の認める特別の事情がある場合は、1年間を限度として、在学留学期間の延長を許可する。

(履修)

第7条 留学する大学での履修については、留学前に留学する大学の授業科目を検討した上、当該学部又は研究科の指導を受けなければならない。

(学生納付金)

第8条 この内規の適用を受けて留学する学生は、留学中所定の学生納付金を納入しなければならない。

(手続)

第9条 外国の大学に留学する学生で、この内規の適用を希望する場合は、在学留学願を当該学部長又は研究科長を通じて学長に提出するものとする。

2 出発・帰国に際しては、留学出発・帰国届を当該学部長又は研究科長を経て、学長に提出しなければならない。

3 在学留学期間の延長を願い出る場合は、在学留学延長願を当該学部長又は研究科長を通じて、学長に提出するものとする。

(単位認定)

第10条 単位認定を受けようとする者は、帰国後速やかに、次に掲げる必要書類(留学した大学の発行するもの)を添付した取得単位認定願を、当該学部長又は研究科長に提出するものとする。

- (1) 成績証明書(時間数、単位数、科目名を明記したもの)
- (2) 指導教員又はこれに準ずる教員の所見を記したもの
- (3) 受講した科目の内容を説明した教授細目
- (4) 大学履修要項

2 当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会は、関係機関と協議の上審議し、留学した大学での取得単位を学則の定めるところにより認定することができる。

(帰国後の登録及び履修)

第11条 留学した学生の帰国直後の春学期又は秋学期における登録及び履修については、当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会が出国時までの履修状況等を勘案し、特別の措置を講ずることがある。なお、設置科目によっては関係機関との協議を必要とする。

(事務)

第12条 この内規に関する事務は、国際連携推進機構国際センター国際課が取り扱う。

(改廃)

第13条 この内規の改廃は、教務〔国際〕主任会議及び部長会の審議を経て、学長が決定する。

誓約書 / 一時帰国届

同志社大学グローバル・コミュニケーション学部 Study Abroadに関する誓約書・確認書

グローバル・コミュニケーション学部 学部長 様

私は、同志社大学グローバル・コミュニケーション学部 Study Abroad プログラム(以下、SAという)により在学留学するにあたり、下記の事項を遵守するとともに誠実に履行することを誓約します。なお、誓約・確認事項に反した場合は、在学留学の資格を取り消される場合があること、並びに、SA先大学で取得した単位が認定されない場合があることを承諾し、異議を申し立てません。

記

- SA先大学決定後は同志社大学グローバル・コミュニケーション学部(以下、本学部という)が正当かつやむを得ないと認める理由以外による辞退はできないこと。
- SAの趣旨を十分理解し、SA先大学にて学業に専念すること。
- SA期間中はSA先大学の学年暦に従い、本学部が認めたSA期間を遵守すること。やむを得ない理由によりSAを継続することに支障が生じた場合は、速やかに本学部に相談すること。
- やむを得ない理由により一時帰国をする場合は、事前に本学部に連絡すること。また、再入国に際して必要な手続きなどがある場合は、学生本人が責任を持って行うこと。
- SA先大学休暇期間中などの個人的な旅行等は、自身で責任を持つこと。また、その行き先を所定連絡先に届け出ること。
- SA期間中は、大学毎に定められた寮またはホームステイ先に滞在すること。大学毎に定められた範囲内で、寮またはホームステイ先に変更が生じた場合は、逐次速やかに所定連絡先へ連絡すること。
- SA先大学が所在する国(地域)の治安の悪化・災害や感染症の発生状況によっては、同志社大学(以下、本学という)がSAの中止または帰国勧告等を決定することがあるので、これらの事態等が生じる可能性を理解し、本学の指示に速やかに従うこと。また、SA先大学の責により当初予定していた費用、計画、日程等に変更が生じることがある。これらの直接本学の責に帰さない事態により発生した損害・負担について本学に一切請求を行わないこと。
- SA期間中は、本学の学生としての自覚と責任において行動すること。また、SA期間中、災害、暴動、テロ、事故、感染症、疾病、犯罪などにより生じた直接本学の責に帰さない損害について、本学に一切責任を問わないこと。感染症等の拡大防止のため、日本国及び諸外国政府が検査や隔離等の出入国管理措置を定めた場合には、それを遵守すること。また、その際に追加で発生する費用負担についても了承すること。
- SA期間中は、滞在国の法令、本学の学則等諸規則を遵守するとともに、SA先大学の定める規則、指導教員、担当者等の指示に従うこと。さらには、滞在国の公序良俗に反することのないよう注意すること。また、日本で禁止されている薬物についても絶対に使用しないこと。
- SA期間中は、自動車(自動二輪車・電動二輪車含む)の運転を行わないこと。
- SA参加にあたっては、必ず本学部指定の飛行機で渡航・帰国すること。やむを得ない理由により変更する場合は速やかに所定連絡先へ連絡すること。なお、変更承認後の行動によって生じる一切について自己責任であることを了承すること。
- SAに際しては、原則として、出発から帰国まで本学部指定の海外旅行傷害保険、SA先大学指定の健康保険に加入すること。
- SA期間中は、本学部への現地到着報告、近況報告等を行い、帰国後は速やかに指定された報告書・アンケート等を提出し、報告会等での報告をすること。
- SAの運営や緊急時の対応のために、本学部へ届け出た学生本人および保証人の個人情報を本学部、SA先大学、SA取扱業者が利用することに同意すること。
- SAの運営、学生の安全確保、SA期間中の学修状況確認等のために、SA先大学で取得した学業成績や研修中の生活情報等の個人情報を本学部に提供することに同意すること。また、これらの情報を必要に応じて本学部、SA先大学、SA取扱業者が共有することに同意すること。
- 特別な配慮を必要とする疾病がある場合は、出発前に本学部へ申し出ること。
- 本学部がSA修了の判断、並びに、SA先大学で取得した単位の認定を実施するには、SA期間に発生した追加の授業料を含む全ての費用の完納を要することを承諾すること。なお、費用は為替レートの変動、学生の履修計画の変更等の諸事情により変動することを理解し、納入済みのSA費用に不足が生じた場合はその追加の支払いに速やかに応じること。

上記誓約事項を遵守することを誓約します。 年 月 日

学籍番号 _____

学生署名 _____ 印

学生本人が上記誓約事項を遵守することを保証します。

保証人署名 _____ 印

(学生との関係: _____)

以上

- SAIに出発する前に、「同志社大学グローバル・コミュニケーション学部 Study Abroadに関する誓約書・確認書」を配布します。重要なことが記載されていますので、熟読し、内容をよく確認してください。本人および保証人が署名の上、提出が必要です。
- SA期間中の帰国は原則として認められません。但し、特別な事情により日本へ一時帰国する場合には、「一時帰国届」の提出が必要です。

大学からの重要なお知らせは、随時DUETと大学が発行したアドレスへのE-mailで通知します。必ず定期的に確認するよう、習慣づけてください。

同志社大学 グローバル・コミュニケーション学部

〒610-0394 京田辺市多々羅都谷1-3
TEL : 0774-65-7491 E-mail : jt-gcjm@mail.doshisha.ac.jp



**DOSHISHA UNIVERSITY
FACULTY OF GLOBAL
COMMUNICATIONS
[ENGLISH COURSE]**

